

令和4年12月23日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会



令和4年度  
山口県学力定着状況確認問題  
結果について



令和4年12月

山口県教育庁義務教育課

## 目 次

I	実施概要	..... P	1
II	教科の問題に関する結果	..... P	2
	1 小学校		
	(1) 国語	..... P	2
	(2) 算数	..... P	6
	2 中学校		
	(1) 国語	..... P	10
	(2) 数学	..... P	14
	(3) 英語	..... P	18
	3 設問別正答率一覧	..... P	22
III	児童生徒質問紙調査の結果	..... P	31

# I 実施概要

## 1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、CBTで実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

## 2 実施期日

令和4年10月17日(月)から10月21日(金) 小学6年、中学2年

令和4年10月24日(月)から10月28日(金) 小学5年、中学1年

※ 学校の実情に応じて、各期間で実施することとし、一日の実施教科数、実施教科の順序等は、各学校が定める。

## 3 実施内容

### (1) 実施対象等

	学年	実施人数	内容(時間)
小学校	第5学年	10,086人	国語、算数(各40分)及び質問紙
	第6学年	10,627人	国語、算数(各40分)及び質問紙
中学校	第1学年	9,722人	国語、数学(各45分)及び質問紙
	第2学年	9,691人	国語、数学、英語(各45分)及び質問紙

### (2) 教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

### (3) 質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

### 【データの処理について】

○各学年の実施人数について

・各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙を実施した児童生徒数の最大値を示している。

○平均正答率の算出方法について

・各教科の平均正答率は、問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

・学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

## II 教科の問題に関する結果

### 1 小学校

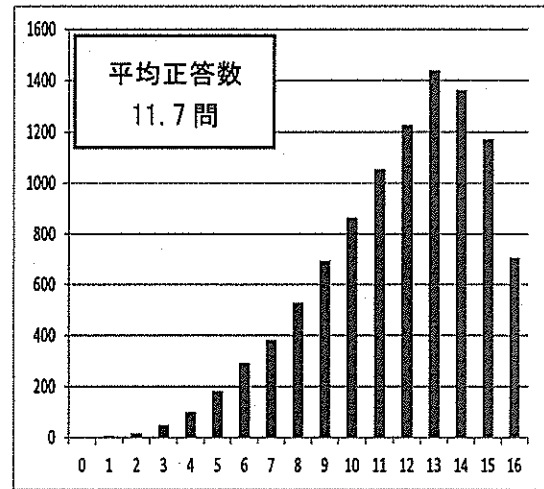
#### (1) 国語

##### 【第5学年】

実施児童数	10,073 人
設問数	16 問
平均正答率	73.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	9	77.4	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	3	77.3
		書くこと	1	41.4
		読むこと	3	67.2
評価の観点	知識・技能	9	77.4	
	思考・判断・表現	7	67.9	
問題形式	選択式	14	75.2	
	短答式	1	77.8	
	記述式	1	41.4	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

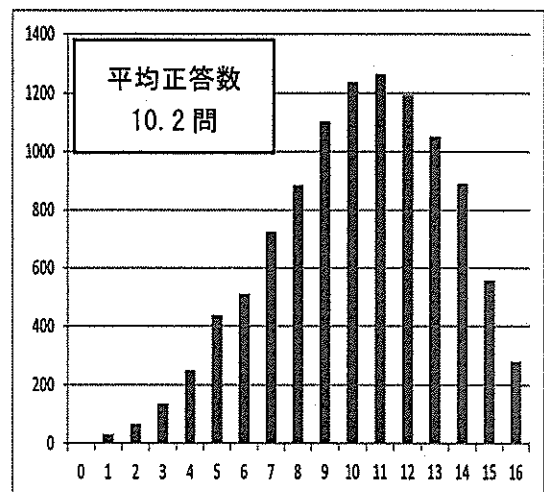


##### 【第6学年】

実施児童数	10,627 人
設問数	16 問
平均正答率	63.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	8	66.6	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	1	57.5
		書くこと	3	48.9
		読むこと	4	71.1
評価の観点	知識・技能	8	66.6	
	思考・判断・表現	8	61.1	
問題形式	選択式	13	67.6	
	短答式	1	82.3	
	記述式	2	30.5	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



### 【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめることについて、相当数の児童ができている。
  - ・和食と給食のよさを伝える際のまとめとして、適切なものを選ぶ。  
(小6 1 (4) : 87.9%)
  
- 助詞を正しく使うことについて、相当数の児童ができている。
  - ・「目的地にはバスより電車の方が早く着く。」という文の「より」と同じ意味で「より」が使われている文を選ぶ。(小6 3 (5) : 82.7%)
  
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることについて、課題が見られる。
  - ・意見文の書き出しの工夫について述べているものとして、最も適切なものを選ぶ。  
(小6 2 (1) : 49.8%)
  
- 自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。
  - ・<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書く。  
(小5 2 (5) : 41.4%)
  
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけて書くことについて、課題が見られる。
  - ・<コメント>の一部を基に、自分の文章のよさを書く。  
(小6 2 (5) : 30.7%)  
R3小6 全国調査(県平均) 35.8%  
「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うことについて、改善傾向が見られる。

3 次の問いに答えましょう。

(1) 次の文の\_\_\_\_\_部の言葉を漢字に直します。正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。

今日ではてんこうに恵まれた。

ア 典候。  
イ 転向。  
ウ 転校。  
エ 天候。

(2) 次の文の\_\_\_\_\_部の言葉と同じ漢字が使われる文を、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。

家の戸があく。

ア 会うのは次かいにする。  
イ かい会式を行う。  
ウ 工場の機かいを見る。  
エ 商品のかい良を行う。

**【正答】 (1) エ (2) イ**

正答率：(1) 92.0% (2) 76.6%

【令和4年度全国学力・学習状況調査】 小学校6年国語 [3]三 ア イ ウ

次の\_\_\_\_\_部ウを漢字でいねいに書きましょう。

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボードゲームを各学級にしようかいいたいです。

次の\_\_\_\_\_部イを漢字でいねいに書きましょう。

そして、当分の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

次の\_\_\_\_\_部アを漢字でいねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいいたいです。

三 鳥谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた\_\_\_\_\_部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

正答率 ア 65.6% イ 58.6% ウ 68.2%



国語 課題の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

- 自分の立場や意図を明確にし、メモを基に自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

2 (5) 田中さんは、次の話し合いに向けて、木下さんの<メモ>をもとに、サツマイモか白オクラのどちらかを選び、自分の考えを、書くことにしました。あなたが田中さんなら、どのように書きますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- サツマイモか白オクラかのどちらかを選び、<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 解決方法は、自分たちにできることを考えて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、30字以上、50字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

◆の所から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

(正答例) (サツマイモをさいばいするのがよいと思います。草ぬきなどの世話が大変という問題については、) 草ぬきをする日や時間を決めたり、当番で順番したりすればよいと思います。(35字)  
(白オクラをさいばいするのがよいと思います。さいばいがむずかしいという問題については、) 農家の方に教えてもらったり、インターネットで調べたりするとよいと思います。(37字)

正答率：41.4%

【誤答類型】 誤答 (54.5%) 無答 (4.1%)

(小学校6年生)

- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることについて、課題が見られる。

2

(5) 松本さんは、【コメントの一部②】をもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが松本さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 【意見文2】のよさを書くこと。
- 【意見文1】から【意見文2】に書き直した部分を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

※入力した文字数は解答란の下に表示されます。

(正答例) (わたしの文章のよさは、) タブレットを使うよさを伝えるために、自分の経験をもとに具体的に書いたり、自分とは異なる状況の人にとってのよさについても書いたりしたところです。(71字)

正答率：30.7%

【誤答類型】 誤答 (62.5%) 無答 (6.8%)

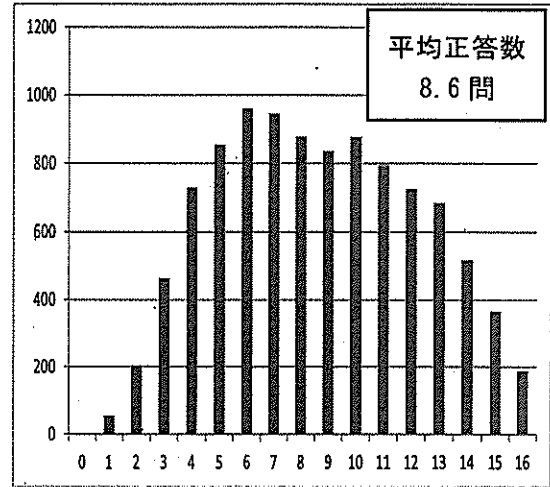
(2) 算数

【第5学年】

実施児童数	10,086 人
設問数	16 問
平均正答率	53.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	6	48.8
	図形	4	68.0
	測定・変化と関係	3	47.4
	データの活用	3	51.5
評価の観点	知識・技能	10	59.9
	思考・判断・表現	6	43.7
問題形式	選択式	11	52.6
	短答式	5	56.6
	記述式	0	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

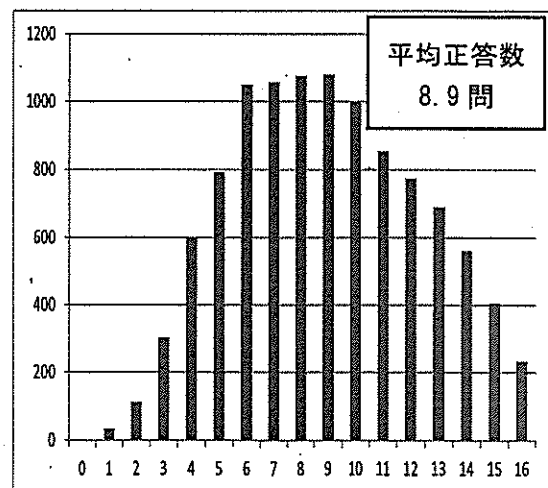


【第6学年】

実施児童数	10,625 人
設問数	16 問
平均正答率	55.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	6	63.5
	図形	3	62.7
	測定・変化と関係	5	48.0
	データの活用	2	42.0
評価の観点	知識・技能	12	59.4
	思考・判断・表現	4	45.0
問題形式	選択式	11	59.0
	短答式	5	48.9
	記述式	0	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



### 【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解することに成果が見られる。
  - ・分数の乗法の計算をすること（小6 $\boxed{1}$ (3) : 79.3%）
  - ・分数の除法の計算をすること（小6 $\boxed{1}$ (4) : 80.7%）
  - ・（2桁）×（1桁）の計算をすること（小6 $\boxed{2}$ (1) : 88.3%）
  
- 二つの観点から分類整理されたデータを読むことに成果が見られる。
  - ・折れ線グラフのめもりを正しく読むこと（小5 $\boxed{6}$ (1) : 85.9%）
  
- 量が変わっても割合は変わらないこと（小6 $\boxed{2}$ (4) : 49.0%）  
R4小6全国調査（県平均）19.4% 「数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること」
  
- 小数の減法・除法の計算技能に課題が見られる。
  - ・整数-小数の計算をすること（小5 $\boxed{1}$ (1) : 41.0%）
  - ・整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること（小5 $\boxed{1}$ (2) : 25.8%、小6 $\boxed{1}$ (2) : 30.6%）
  
- 割合の内容を理解することに課題が見られる。
  - ・比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てること（小5 $\boxed{5}$ (2) : 32.3%）
  - ・比較量が表す意味を理解すること（小6 $\boxed{4}$ (1) : 40.5%）
  - ・割合を理解し、もとにする量を求めること（小6 $\boxed{5}$ (2) : 23.3%）
  
- 平面図形の面積を求める方法等を説明することに課題が見られる。
  - ・台形の面積の公式を導くこと（小6 $\boxed{3}$ (2) : 27.6%）
  - ・複合図形の面積を求めるために、必要な長さを選ぶこと（小5 $\boxed{4}$ (3) : 46.9%）
  
- データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したり、その結論について考察したりすることに課題が見られる。
  - ・グラフの目盛りに着目し、グラフを正しく読み取ること（小6 $\boxed{5}$ (1) : 37.9%）
  - ・それぞれのグラフが表す事柄を読み取ること（小6 $\boxed{5}$ (3) : 46.1%）
  - ・3つの折れ線グラフを見て、正しい情報を読み取ること（小5 $\boxed{6}$ (2) : 45.2%）
  - ・概数の処理の仕方を理解し、それを正しく用いた折れ線グラフを選ぶこと（小5 $\boxed{6}$ (3) : 41.3%）
  - ・複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすこと（小5 $\boxed{6}$ (4) : 23.5%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

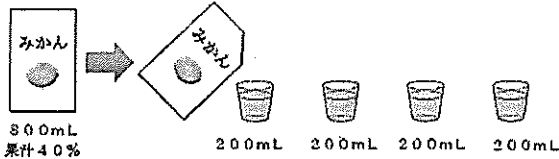
算数 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校6年生)

○ 量が変わっても割合は変わらないことの理解に改善傾向（継続課題）が見られる。

2

(4) 帰宅後、ハンバーグを作ったしょうたさんは、みかんの果汁が40%ふくまれている800mLの飲み物も準備することにしました。この飲み物を4人で等しく分けると、1人分は200mLになります。



しょうたさんは、200mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめました。

【200mLの飲み物に含まれている果汁の割合について】

200mLは、800mLの $\frac{1}{4}$ の量です。

このとき、

上の①にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、番号で答えましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になっても、果汁の割合は変わりません。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{4}$ になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になると、果汁の割合は4倍になります。

【正答】 1

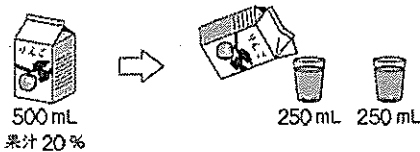
正答率：49.0%

【誤答類型】 2…43.2% 3…7.7%

【令和4年度全国学力・学習状況調査】小学校6年算数 2

正答率 19.4%

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上の③にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

【正答】 3

算数 課題の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年・6年生)

● 小数の減法・除法の計算をすることに課題が見られる。

5年 1

(1)  $20 - 1.6$

ア 0.4

イ 18.4

ウ 19.6

エ 28.4

【正答】 イ

正答率：41.0%

【誤答類型】 ア…56.1%

5年・6年 **1**

(2)  $75 \div 3.7$

(商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

ア 2あまり1

イ 2あまり10

ウ 20あまり1

エ 20あまり10

**【正答】ウ**

正答率：5年…25.8% 6年…30.6%

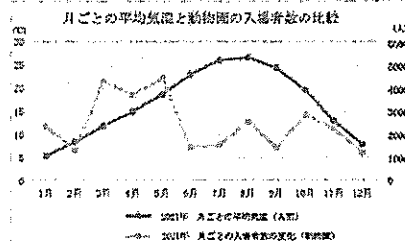
【誤答類型】5年 ア…35.4% エ…22.3% イ…16.0%  
6年 エ…31.5% ア…21.8% イ…15.9%

(小学校5年生)

● 複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすことに課題が見られる。

**6**

(4) 入場者数の変化と気温の変化を比べたさくらさんとまさきさんは、自分の考えをそれぞれまとめました。□にあう言葉を選びましょう。



【さくらさん】  
「気温」と「動物園の入場者数」を比べた結果、わたしは関係が **A** を考えました。理由は、気温が高くなる **B** の入場者数が30000人を超え、多くなっているからです。ただし、**C** をこえると入場者数がへっていたのでおもしろいと思いました。

【まさきさん】  
「気温」と「動物園の入場者数」を比べた結果、ぼくは関係が **D** と考えました。理由は、**E** が一番高いのは8月だけど、**F** が一番多いのは5月だからです。

- A** の選択肢…ある ない
- B** の選択肢…3月から5月 5月から7月 7月から9月)
- C** の選択肢…10 20 30)
- D** の選択肢…ある ない)
- E** の選択肢…気温 入場者数)
- F** の選択肢…気温 入場者数)

**【正答】 A…ある B…3月から5月 C…20 D…ない E…気温 F…入場者数**

正答率：23.5%

(小学校6年生)

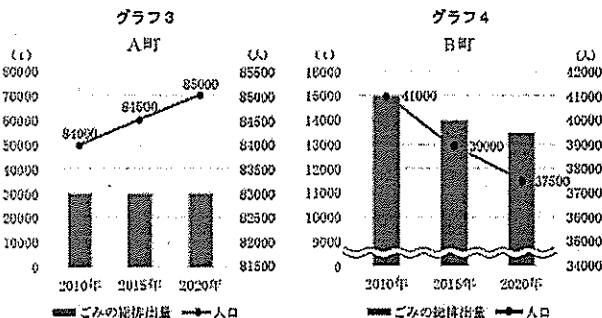
● 割合を理解し、もとにする量を求めることに課題が見られる。

**5**

(2) 2020年の1年間で、A町において1人あたりが出したごみの量を求めるための式を完成させます。□にあてはまる数を答えましょう。

人口について気になったふみかさんたちは、グラフ1、グラフ2に人口の折れ線グラフを加えたグラフ3、グラフ4について調べてみました。

□ ÷ □



**【正答】  $30000 \div 85000$**

正答率：23.3%

【誤答類型】 $85000 \cdot 30000$ …24.2%  $85000 \cdot 83000$ …9.3%

## 2 中学校

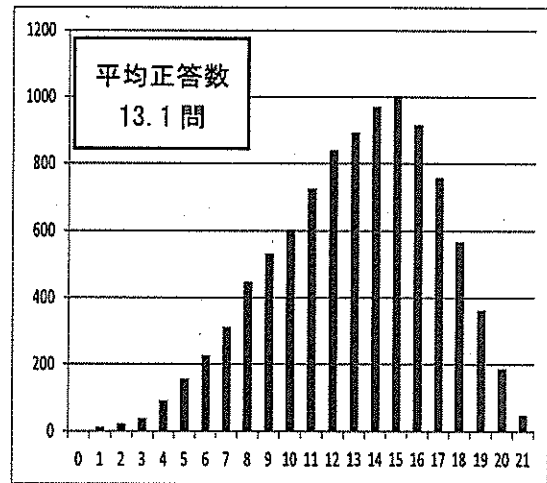
### (1) 国語

#### 【第1学年】

実施児童数	9,722 人
設問数	21 問
平均正答率	62.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	累全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	58.4	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	3	67.8
		書くこと	2	75.0
		読むこと	5	62.1
評価の観点	知識・技能	11	58.4	
	思考・判断・表現	10	66.4	
問題形式	選択式	15	73.2	
	短答式	5	35.1	
	記述式	1	33.7	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

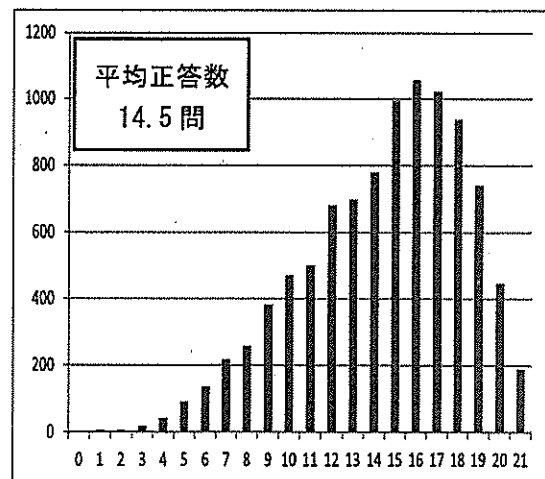


#### 【第2学年】

実施児童数	9,683 人
設問数	21 問
平均正答率	68.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	累全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	66.3	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	4	67.4
		書くこと	1	43.5
		読むこと	5	80.8
評価の観点	知識・技能	11	66.3	
	思考・判断・表現	10	71.7	
問題形式	選択式	16	72.3	
	短答式	4	61.6	
	記述式	1	43.5	

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 1年生において、文章の展開をふまえ、人物像をつかむことについては、相当数の生徒ができています。（中1 $\boxed{1}$ （3）②：91.2%）
  
- 1年生において、書く目的に応じて集めた材料を整理することについては、相当数の生徒ができています。（中1 $\boxed{3}$ （3）：86.5%）
  
- 2年生において、物語の全体像を捉えることについては、過去の調査と比較して改善の傾向が見られる。（中2 $\boxed{1}$ （5）：83.5%）  
R4中2 4月確認問題（県平均）43.8%  
「場面の展開や登場人物の心情の変化などを捉え、自分の考えを書くこと」
  
- 2年生において、資料を効果的に活用して説明することについては、相当数の生徒ができています。（中2 $\boxed{3}$ （1）：82.2%）
  
- 1年生において、登場人物の言動から心情を捉え、工夫して表現することに課題が見られる。（中1 $\boxed{1}$ （4）：33.7%）
  
- 1年生において、四字熟語を理解することに課題が見られる。  
（中1 $\boxed{2}$ （2）：14.2%）
  
- 2年生において、修飾・被修飾の関係について理解することに課題が見られる。（中2 $\boxed{2}$ （5）：23.9%）  
R3中2 学力定着状況確認問題（県平均）74.3%  
「文の中における被修飾語を捉える」
  
- 2年生において、聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫することに課題が見られる。（中2 $\boxed{3}$ （3）：32.0%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。  
※ ○は成果、●は課題を示している。

**国語 成果や改善傾向の見られる問題例** 【中学校1・2年生】

(中学校2年生)

○ 表現や描写の工夫を捉えることについて、改善傾向が見られる。

1 (4) Bの野菜は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア にんじん    イ ごぼう    ウ さつまいも    エ だいこん

【正答】 エ

正答率：78.7%

【誤答類型】

ア 4.9%    イ 11.4%    ウ 4.7%

(中学校2年生)

○ 物語の全体像を捉えることについて、改善傾向が見られる。

1 (5) 【文学的文章の一部】のとうもろこしとBの野菜の共通点は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

- ア 自分が理想としているような成長ができず、悩みを抱えている。
- イ 自分を育てている主人の妻に対して、いくつもの不満を抱えている。
- ウ 自分のいる環境に合わせて、うまく成長できて満足している。
- エ ほかの野菜と協力して、ともに成長したいと心から願っている。

【正答】 ア

正答率：83.5%

【誤答類型】

イ 8.9%    ウ 3.7%    エ 3.1%



**国語 課題の見られる問題例 【中学校1・2年生】**

(中学校1年生)

- 四字熟語を理解することに課題が見られる。

2 (2) 次の( )に入る数字を【数字】から選び、四字熟語を完成させなさい。また、完成した四字熟語の意味を、【意味】のアからエまでの中から一つ選びなさい。(完答)

( ) 日 ( ) 秋

- 【数字】 一 二 三 十 百 千 万  
【意味】 ア 計画や予想が全てあたること  
イ 人によって好みや考え方がちがうこと  
ウ 二つのうちの一つを選ぶこと  
エ 待ちわびて時間が長く感じるこ

【正答】 (一) 日 (千) 秋 エ

正答率：14.2%

(中学校2年生)

- 聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫することに課題が見られる。

3 (3) 【熟議の内容】の和田さんの説明の仕方として、最も適切なものを、次のアからエまでの中から全て選びなさい。

- ア 呼びかけや問いかけなどを取り入れながら説明している。  
イ これまでの取組の成果を根拠にあげながら説明している。  
ウ 取組の具体的な方法についてたずねながら説明している。  
エ 取り組みたいことの原因をあげながら説明している。

【正答】 ア エ

正答率：32.0%

【誤答類型】 アのみ選択 18.0%  
エのみ選択 21.4%

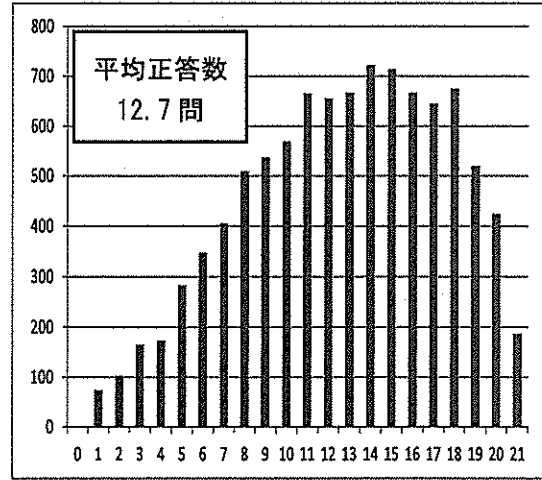
(2) 数学

【第1学年】

実施児童数	9,714 人
設問数	21 問
平均正答率	60.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	12	57.8
	図形	5	71.0
	変化と関係	2	47.5
	データの活用	2	62.3
評価の観点	知識・技能	17	57.8
	思考・判断・表現	4	71.3
問題形式	選択式	3	56.3
	短答式	17	62.9
	記述式	1	30.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

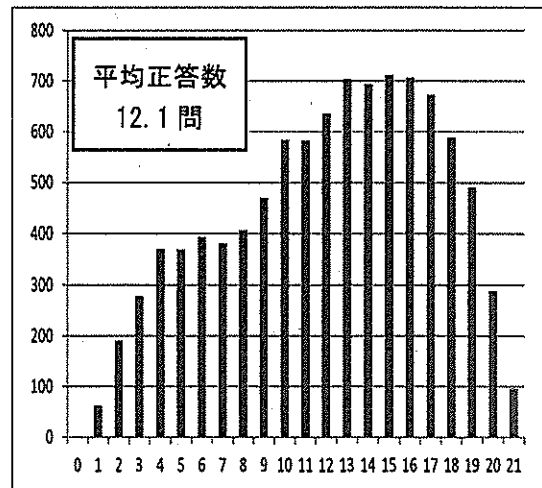


【第2学年】

実施児童数	9,680 人
設問数	21 問
平均正答率	57.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
評価の観点	数と式	12	60.4
	図形	4	57.0
	関数	3	58.1
	データの活用	2	40.9
評価の観点	知識・技能	17	59.4
	思考・判断・表現	4	49.7
問題形式	選択式	8	62.9
	短答式	11	59.1
	記述式	2	27.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



### 【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
  - ・分数の除法の計算をすること（中1 1 (1) 82.0%
  - ・直方体の体積を求めること（中1 3 (2) 84.6%
  - ・二元一次方程式の解の意味を理解すること（中2 3 (2) 76.3%
  
- 基本的な内容の理解に課題が見られる。
  - ・正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付けて理解すること（中1 1 (4) 38.5%
  - ・整式の減法の計算をすること（中1 2 (1) 42.5%
  - ・条件にあう公倍数を求めること（中1 2 (2) 39.4%
  - ・平均を求める方法を式で表現すること（中1 2 (3) 30.4%
  - ・二等辺三角形の性質や構成の仕方について理解すること（中1 3 (3) 44.7%
  - ・中央値を読み取ること（中1 4 (1) 47.4%
  - ・文字を用いた式が表している数量を読み取ること（中2 2 (3) 31.1%
  - ・投影図から円柱の表面積を求めること（中2 5 (2) 17.4%
  
- 割合や比例の関係をを用いて数量を求めたり式で表したりすることに課題が見られる。
  - ・比例を用いて個数を求める方法を見いだすこと（中1 5 (1) 53.2%
  - ・基準量と比較量を基に割合を求めること（中1 5 (2) 41.7%
  - ・比例のグラフの特徴を理解すること（中2 4 (2) 44.6%
  
- 問題解決の結果や方法を振り返って考察することに課題が見られる。
  - ・証明を振り返り、新たに分かる性質を読み取ること（中2 2 (5) 43.2%
  
- 理由を説明することに課題が見られる。
  - ・事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること（中1 6 (2) 45.8%
  - ・空間図形の線分の長さについて理解し説明すること（中2 5 (3) 32.0%
  - ・判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること（中2 6 (2) 23.5%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

**数学 成果や改善傾向の見られる問題例 【中学校1・2年生】**

(中学校2年生)

○ 二元一次方程式の解の意味を理解することに成果が見られる。

3 (2) 二元一次方程式  $x + y = 6$  の解について、次のア～エの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア  $x + y = 6$  の解は、(1, 5) の1組だけである

イ  $x + y = 6$  の解は、(1, 5) ともう1組ある

ウ  $x + y = 6$  の解は、無数にある

エ  $x + y = 6$  の解は、存在しない

【正答】 ウ

正答率：76.3%

【誤答類型】 イ (14.0%)

〔類題〕平成29年全国学力・学習状況調査 数学 中学校3年 3 (3)  
二元一次方程式の解の意味を理解すること 正答率 60.2%

**数学 課題の見られる問題例 【中学校1・2年生】**

(中学校1年生)

● 平均を求める方法を式で表現することに課題が見られる。

2 (3) まさるさんたち5人がゲーム大会を行い、結果は次の表のようになりました。

表

生徒	まさる	ひなた	つよし	なおみ	みお
得点(点)	66	78	77	67	72

みおさんは、この表をもとに、以下の【みおさんの考え方】で5人のゲームの得点の平均点を求めようとしていました。

【みおさんの考え方】



70点を基準にして、5人の得点が70点より高い場合は正の数、低い場合は負の数で表します。次に、5つの値を使って、70点との違いの平均を求め、70点を足せば、5人の平均点を求めることができます。

みおさんの考え方をういて、5人のゲームの平均点を求めるための式を答えなさい。ただし、式を計算する必要はありません。

【正答例】  $70 + (-4 + 8 + 7 - 3 + 2) \div 5$

正答率：30.4%

(中学校 1 年生)

● 資料から中央値を読み取ることに課題が見られる。

4 次の 1 年生の記録は、ある中学校の 1 年生男子 19 人のハンドボール投げの結果を、データの小さい方から順に並べたものです。

1 年生の記録

13	14	15	17	18	18	18	19	20	21
22	24	24	25	26	28	30	32	35	

まおさんは、1 年生の記録のちらばりのようすが分かるように、結果を 5 m ごとに区切って、次の表をつくりました。

表

投げた記録 (m)	人数 (人)
10 以上 15 未満	2
15 ~ 20	6
20 ~ 25	5
25 ~ 30	3
30 ~ 35	2
35 ~ 40	1
合計	19

次の (1)、(2) の間に答えなさい。

(1) この 1 年生の記録の中央値を求めなさい。

【正答】 21 (m)

正答率 : 47.4%

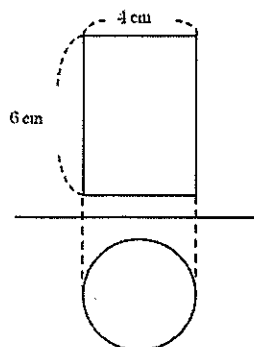
【誤答類型】 18 (9.3%) ※18 は最頻値

(中学校 2 年生)

● 投影図から図形の表面積を求めることに課題が見られる。

5 (2) 次の図は、円柱を投影図に表したものである。この円柱の表面積を求めなさい。

図



【正答】  $32\pi$  (cm<sup>2</sup>)

正答率 : 17.4%

【誤答類型】  $24\pi$  (20.1%)、 $28\pi$  (7.6%)、24 (4.1%)

【参考】平成 30 年全国学力・学習状況調査 数学 中学校 3 年 5 (3)

見取図、投影図から空間図形 (円柱) を読み取ること 正答率 84.0%

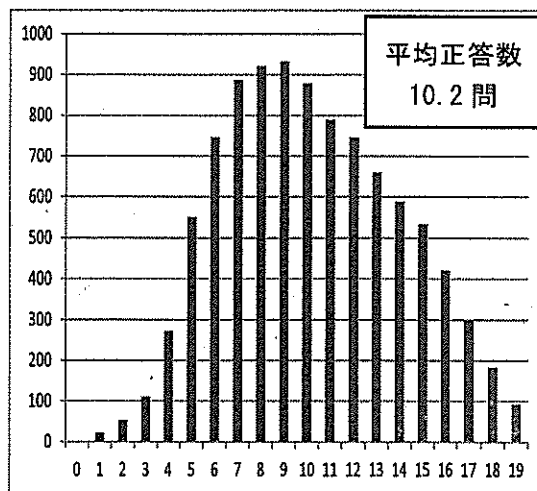
(3) 英語

【第2学年】

実施児童数	9,691 人
設問数	19 問
平均正答率	53.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	聞く	7	55.6
	読む	8	59.5
	書く	4	38.8
評価の観点	知識・技能	11	55.7
	思考・判断・表現	8	51.0
問題形式	選択式	14	60.7
	短答式	1	100.0
	記述式	4	17.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることに、おおむね成果が見られる。
  - ・ 生徒同士の将来の夢に関する英文を聞き、話している内容として適切な答えを選ぶこと (3)(1)89.5%
  
- 基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことに、おおむね成果が見られる。
  - ・ 週末の予定に関する対話文を読み、空欄に当てはまる適切な接続詞を選ぶこと (4)(2)79.2%
  
- 表や資料に示された内容を読んで、必要な情報を読み取ることに、改善の傾向が見られる。
  - ・ オンライン学習会のチラシを読み、条件に合う学習会の曜日と時間を選ぶこと (6)73.2%
  
- 聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題が見られる。
  - ・ 新しく来日するALTの先生のビデオメッセージを聞き、適切な応答を英文1文で書くこと (3)(2)15.2%
  
- 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことに課題が見られる。
  - ・ 海外にいる生徒とのオンラインでの対話文を読み、通学方法を尋ねる英文を書くこと (5)(1)20.8%
  - ・ スポーツ店における友達同士の対話文を読み、好きなスポーツを尋ねる英文を書くこと (5)(2)14.5%
  
- 社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を捉えることに課題が見られる。
  - ・ 分身ロボットを活用した遠隔教育に関する新聞記事の英文を読み、内容に関する質問に対して適切な答えを選ぶこと (8)(2)② 39.4%
  
- 日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じることに課題が見られる。
  - ・ 電車で相席した人との対話文を読んで、時間があるときにする好きなことを15語以上の英文（2文以上も可）で書くこと (9)19.7%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語 成果や改善傾向の見られる問題例 【中学校2年生】

- まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることは、おおむね成果が見られる。

3 (1) レベッカ (Rebecca) とジェイク (Jake) が話をしています。話している内容として最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【放送原稿】

R: Jake, what do you want to be?

J: I want to be a tennis player.

R: Why?

J: Because I like tennis.

R: That's nice.

J: How about you?

What do you want to be, Rebecca?

R: I want to be an actor.

J: Why?

R: Because I like movies.

I like Emma Watson.

I want to be in a movie with her.

J: That's a great dream.

ア レベッカは、テニス選手になりたい。

イ ジェイクは、ミュージシャンになりたい。

ウ ジェイクは、ダンサーになりたい。

エ レベッカは、俳優になりたい。

【正答】 エ

正答率：89.5%

英語 課題の見られる問題例

【中学校2年生】

- 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことに課題が見られる。

5 (2) 【場面】 タク (Taku) はポール (Paul) とスポーツ店で話しています。

Taku: I want to buy a present for my brother.

Paul: When is your brother's birthday?

Taku: Tomorrow.

Paul: Oh, really. Will you buy a present here?

Taku: Yes. I like this shop.

Paul: ( )?

Taku: He plays soccer.

Paul: How about these shoes? They're cool.

Taku: That's nice.

【正答例】 What sports does he play?

正答率：14.5%



- 社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を捉えることに課題が見られる。

8 次の英文は ALT の先生が、授業で読むために持ってきた新聞記事です。その記事を読み、あとの問いに答えなさい。

Jane is 10 years old. She lives in London, the U.K. She is very sick and she can't go to school. She must stay at home for a long time.

One day, a special robot came to her school and now it sits in her place at school. The robot plays a very important role for her. It has a light on its head. The light turns on and off when Jane wants to say something. Her teacher and friends can talk to her, and laugh with her during class through the robot. She is at home, but she can be a part of the class.

There are other similar robots in the world. Thanks to robots like this, when a child can't go to school, he or she does not feel alone. They can feel that they are in the classroom.



(2) この記事を読んだ後、ALT の先生が2つ質問をしました。その質問に対する答えとして最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

② ALT の質問 Why are these robots important for students like Jane?

- ア The students can be good at science.
- イ The students can play with the robot.
- ウ The students can be sad.
- エ The students can join the class.

【正答】 エ

【誤答類型】

ア(9.7%) イ(36.1%) ウ(13.7%)

正答率：39.4%

- 日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること(適切さ)に課題が見られる。

9 あなたは、一人で電車に乗っているときに、編み物をしている女性と出会い、次のような会話をしました。会話の流れに合うように、①に当てはまるよう適切な英文を答えなさい。ただし、単語のみではなく、一貫性(まとまり)のある返事を考え、12語以上(2文以上になってもよい)で書くこと。

You: Hello. Can I take a seat here?

Woman: Yes, please. Where are you going?

You: I am going to Hiroshima City to see my grandparents.

Woman: Nice.

You: Wow, you are good at knitting.

Very beautiful!

Woman: Thank you. This is my hobby. What do you like to do when you are free?

You: ① [一貫性(まとまり)のある12語以上の英文]

Woman: That's why you like it, don't you? I see. Sounds interesting.

【正答例】

I like to read comic books. That's because they have nice pictures and stories.

I like playing tennis. I like Osaka Naomi. I want to play like her. 等

正答率：19.7%

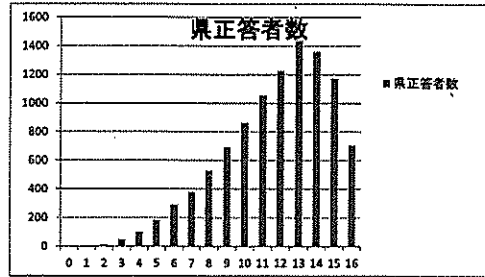
### 3 設問別正答率一覧

令和4年度 学力定着状況確認問題 設問別正答率

小学校第5学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	9	77.4	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	3	77.3
		書くこと	1	41.4
		読むこと	3	67.2
評価の観点	知識・技能	9	77.4	
	思考・判断・表現	7	67.9	
問題形式	選択式	14	75.2	
	短答式	1	77.8	
	記述式	1	41.4	



設問別集計結果

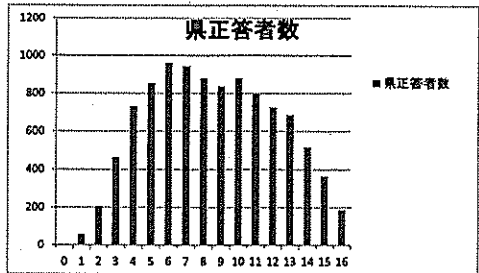
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1) ①	文書全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する	5				○	○	○				小5_読む_07_☆やまぐちっ子プラス 読むこと1	63.1	
1 (2) ②	文と文とのつながりを捉え、適切な接続語を用いる	4	○				○	○				小4_読む10_☆やまぐちっ子プラス 読むこと2	75.8	
1 (3) ③	目的に応じて、必要な内容を含む文を選ぶ	4				○	○	○				小4_読む09_☆やまぐちっ子プラス 読むこと1	52.6	
1 (4) ④	文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめる	4				○	○	○				小4_書く09_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1	85.8	
1 (5) ⑤	学校図書館などを利用し、複数の本などを活用して、調べる	3	○				○	○					78.2	
2 (1) ⑥	目的を意識して話題を決め、集めた材料を分類して、伝え合うために必要な事柄を選ぶ	4		○				○	○			小4_話す・聞く04_発表	86.6	
2 (2) ⑦	事典の使い方を理解し使う	4	○				○	○					56.7	
2 (3) ⑧	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる	4		○				○	○			小5_話す・聞く06_話し合い2	80.1	
2 (4) ⑨	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の構成を考える	4		○				○	○			小4_話す・聞く08_「読書」(話し 合い)	65.3	
2 (5) ⑩	自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめることができる	5			○			○		○		小5_書く_07_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1	41.4	
3 (1) ⑪	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使う	4	○				○	○				小4_ことば06_漢字を読む2	92.0	
3 (2) ⑫	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使う	4	○				○	○				小4_ことば06_漢字を読む4	76.6	
3 (3) ⑬	文中における主語、述語を捉える	2	○				○		○			小2_ことば06_ことばの使い方2	77.8	
3 (4) ⑭	文中における被修飾語を捉える	3	○				○	○				小3_ことば08_修飾語4	55.7	
3 (5) ⑮	接続する語句の役割について理解する	4	○				○	○				小4_書く01_接続語・文末表現	83.7	
3 読解 ⑯	学年別漢字配当表に示されている漢字の筆順を理解する	4	○				○	○					100.0	

※動面問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

小学校第5学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	果全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	6	48.8
	図形	4	68.0
	測定・変化と関係	3	47.4
	データの活用	3	51.5
評価の観点	知識・技能	10	59.9
	思考・判断・表現	6	43.7
問題形式	選択式	11	62.6
	短答式	5	56.6
	記述式	0	



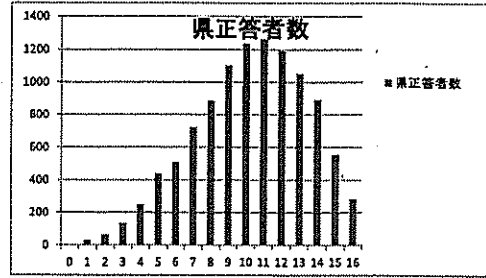
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐる学習支援プログラム問題	あなたの調査結果	果全体正答率 (%)
			数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1 (1) ①	整数×小数の計算をすることができる	4	○				○	○					小4_数と計算_04_小数		41.0
(2) ②	整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めることができる	5	○				○	○					小6_数と計算_03_小数(2)		25.8
2 (1) ③	あまりのあるわり算をして、商とあまりの意味について考え、題意にそった答えを求めることができる	3	○					○	○				小3_数と計算_03_わり算		63.6
(2) ④	あまりのあるわり算をすることができる	3	○				○	○					小3_数と計算_03_わり算		64.5
3 (1) ⑤	乗法の場面を、□を使った式に表すことができる	3	○				○	○					小3_数と計算_08_□を使った式		56.5
4 (1) ⑥	平行四辺形の定義を理解し、その性質にあてはまらないものを選ぶことができる	4		○				○	○				小4_図形_10_四角形		63.8
(2) ⑦	いろいろな四角形の性質について正しく理解している	4		○				○	○				小4_図形_10_四角形		61.1
(3) ⑧	複合図形の面積を求めるために、必要な長さを選ぶことができる	4		○				○	○				小4_図形_18_☆やまぐらっ子プラス図形		46.9
5 (1) ⑨	示された場面において、必要な比較量と基準量をとらえ、計算する際には単位をそろえる必要があることに気づくことができる	4			○			○	○				小4_数と計算_15_☆やまぐらっ子プラス数と計算		50.7
(2) ⑩	比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てることができる	4			○			○	○				小4_数と計算_15_☆やまぐらっ子プラス数と計算		32.3
(3) ⑪	基準量と割合を使って比較量を求める式の意味を理解し、その答えを求めることができる	4			○			○		○			小4_変化と関係_23_割合		59.3
6 (1) ⑫	折れ線グラフのめもりを正しく読むことができる	4				○	○			○			小4_データの活用_13_折れ線グラフ		85.9
(2) ⑬	3つの折れ線グラフを見て、正しい情報をよみとることができる	4				○	○			○			小4_データの活用_16_☆やまぐらっ子プラス データの活用		45.2
(3) ⑭	概数の処理の仕方を理解し、それを正しく用いた折れ線グラフを選ぶことができる	4	○					○	○				小4_数と計算_2_およその数		41.3
(4) ⑮	複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすことができる	4				○		○		○			小4_データの活用_16_☆やまぐらっ子プラス データの活用		23.5
7 動画 ⑯	作図の動画を見て、活用した平行四辺形の性質を選ぶことができる	4		○				○	○				小4_図形_10_四角形		100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	8	66.6	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	1	57.5
		書くこと	3	48.9
		読むこと	4	71.1
評価の観点	知識・技能	8	66.6	
	思考・判断・表現	8	61.1	
問題形式	選択式	13	67.6	
	短答式	1	82.3	
	記述式	2	30.5	



設問別集計結果

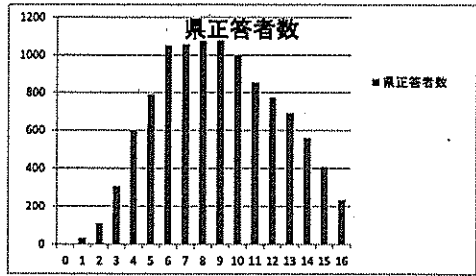
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1) ①	文章全体の構成を捉え、要旨を把握する	5					○	○	○				小6_読む08_☆やまぐちっ子プラス 読むこと1	80.8
1 (2) ②	書き手の意図を踏まえ、論の進め方の工夫を捉える	5					○	○	○				小6_読む08_☆やまぐちっ子プラス 読むこと2	59.0
1 (3) ③	目的に応じて、必要な内容を含む文を選ぶ	4					○	○	○				小5_読む08_☆やまぐちっ子プラス 読むこと2	56.7
1 (4) ④	文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめる	4					○	○	○				小4_書く09_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1	87.9
1 (5) ⑤	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中 心を捉えることができる	4	○					○	○				小5_話す・聞く06_話し合い2	57.5
2 (1) ⑥	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考える	5			○			○	○				小5_書く01_文章の構成1(段落)	49.8
2 (2) ⑦	間違いを正して、文章を整える	3	○					○	○				小5_書く05_推敲3	68.6
2 (3) ⑧	自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する	5			○			○	○				小5_書く06_推敲4	66.3
2 (4) ⑨	主語と述語との関係について理解する	4	○					○			○		小2_ことば06_ことばの使い方2	30.2
2 (5) ⑩	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付け る	5			○			○		○				30.7
3 (1) ⑪	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	4	○					○	○				小5_言葉の特徴や使い方01_同音異 義語1	26.2
3 (2) ⑫	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	4	○					○	○				小5_言葉の特徴や使い方02_同音異 義語2	78.3
3 (3) ⑬	文中における主語、述語を捉える	2	○					○		○			小2_ことば06_ことばの使い方2	82.3
3 (4) ⑭	文中における被修飾語を捉える	3	○					○	○				小3_ことば08_修飾語4	64.9
3 (5) ⑮	助詞を正しく文の中で使う	5	○					○	○				小4_書く01_接続語、文末表現	82.7
3 動画 ⑯	学年別漢字配当表に示されている漢字の筆順を正しく理解する	4	○					○	○					100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

小学校第6学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	6	63.5
	図形	3	62.7
	測定・変化と関係	5	48.0
	データの活用	2	42.0
評価の観点	知識・技能	12	59.4
	思考・判断・表現	4	45.0
問題形式	選択式	11	59.0
	短答式	5	48.9
	記述式	0	



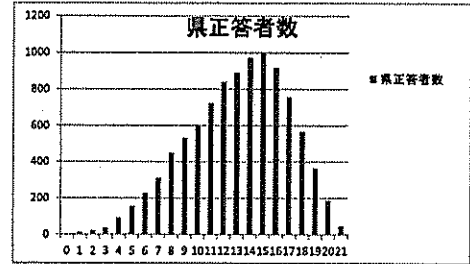
設問別集計結果

校番号	設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
				数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
	1 (1) 1)	整数÷小数の計算をすることができる	4	○				○		○				小4_数と計算_04_小数		58.1
	(2) 2)	整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めることができる	5	○				○		○				小5_数と計算_03_小数(2)		30.6
	(3) 3)	分数の乗法の計算をすることができる	6	○				○		○				小6_数と計算_01_分数のかけ算		79.3
	(4) 4)	分数の除法の計算をすることができる	6	○				○		○				小6_数と計算_02_分数のわり算		80.7
2	(1) 5)	(2桁) × (1桁) の計算をすることができる	3	○				○			○			小3_数と計算_05_かけ算の筆算		88.3
	(2) 6)	単位量あたりの大きさを表す数字の意味を理解し、値段の比較をすることができる	5		○				○	○				小5_変化と関係_11_単位量あたりの大きさ		62.2
	(3) 7)	場面に即した適切な見積もりの方法を選ぶことができる	4	○					○		○			小4_数と計算_02_おおよその数		44.1
	(4) 8)	量が変わっても、割合は変わらないことを理解している	5		○				○		○			小5_変化と関係_13_割合		49.0
3	(1) 9)	三角形の底辺と高さを見つけ、面積を求めることができる	5		○				○		○			小5_図形_06_面積		61.3
	(2) 10)	台形の面積の公式を導くことができる	5		○				○		○			小5_図形_06_面積		27.6
4	(1) 11)	比較量が表す意味を理解している	5		○				○		○			小5_変化と関係_20_☆やまぐちっ子プラス		40.5
	(2) 12)	割引きされた金額の求め方を理解している	5		○				○		○			小5_変化と関係_20_☆やまぐちっ子プラス		65.2
5	(1) 13)	グラフの目盛りに着目し、グラフを正しく読み取ることができる	3				○	○		○				小3_データの活用_16_☆やまぐちっ子プラス		37.9
	(2) 14)	異種の二つの量の割合の求め方を理解している	5		○				○		○			小5_変化と関係_11_単位量あたりの大きさ		23.3
	(3) 15)	それぞれのグラフが表す事柄を読み取ることができる	5				○		○	○				小5_データの活用_19_☆やまぐちっ子プラス		46.1
6	動画 16)	動画を見て、合同な三角形の作図に必要な条件を選ぶことができる	5		○				○		○			小5_図形_21_☆やまぐちっ子プラス図形		100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	58.4
	話すこと・聞くこと	3	67.8
	書くこと	2	75.0
	読むこと	5	62.1
評価の観点	知識・技能	11	58.4
	思考・判断・表現	10	66.4
問題形式	選択式	15	73.2
	短答式	5	35.1
	記述式	1	33.7



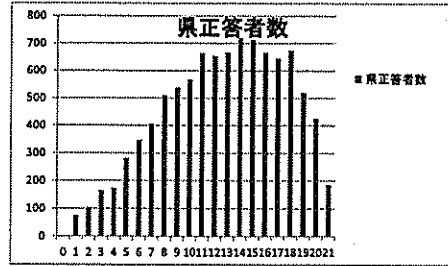
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム 問題	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1)	1) 内容的確に捉え、必要な情報を取り出す	中1				○	○		○			小6_読む_05_「おゆうさん」(物語)1		36.8
(2)	2) 副詞の効果について捉える	中1				○	○	○				小3_書く_04_くわしくする言葉		92.6
(3) ①	3) 文章の展開をふまえ、人物像をつかむ	中1				○	○	○						56.2
(3) ②	4) 文章の展開をふまえ、人物像をつかむ	中1				○	○	○						91.2
(4)	5) 登場人物の言動から心情を捉え、工夫して表現する	中1				○	○			○				33.7
2 (1)	6) 同訓異字について理解する(冷める)	小4	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方_01_同訓異義語1		52.2
(2)	7) 四字熟語について理解する(一日千秋)	小5・6	○				○		○			小6_言葉の特徴や使い方_10_四字熟語2		14.2
(3)	8) 打消しの接頭語について理解する(無)	小5・6	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方_04_熟語1		96.9
(4)	9) 主語・述語の関係を理解する	小1・2	○				○		○			小2_ことば_06_ことばの使い方2		59.0
(5)	10) 修飾語を理解する	中1	○				○		○			小3_ことば_05~08_修飾語1~4		51.3
(6)	11) 時と場に応じて、適切な敬語を使う	小5・6	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方_08~09_敬語1~2		54.6
(7)	12) ことわざの意味を理解する	小3・4	○				○		○			小6_言葉の特徴や使い方_01~04_ことわざ1~5		43.3
(8) ①	13) 俳句の季語について理解する	小3・4	○				○		○			小6_我が国の言語文化_07_俳句1		76.5
(8) ②	14) 短歌に表現された情景を読む	中1	○				○		○			小6_言葉の特徴や使い方_08_俳句2		64.8
(8) ③	15) 表現技法について理解する	小6・6	○				○		○			中1_我が国の言語文化_02_言語文化②		30.2
3 (1)	16) 効果的な話し合いの進め方を捉える	中1		○			○		○					50.8
(2)	17) 目的に応じて話し方を工夫する	中1		○			○		○			小5_話す・聞く_01_話し方1		81.9
(3)	18) 書く目的に応じて、集めた材料を整理する	中1		○			○		○					86.5
(4)	19) 複数の情報を関連付けて内容を捉える	中1		○			○		○					70.5
(5)	20) 文章に対して適切に感想や意見をもつ	中1		○			○		○					63.5
4 動画	21) 行書の特徴を捉える	中1	○				○		○					100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	12	57.8
	図形	5	71.0
	変化と関係	2	47.5
	データの活用	2	62.3
評価の観点	知識・技能	17	57.8
	思考・判断・表現	4	71.3
問題形式	選択式	3	56.3
	短答式	17	62.9
	記述式	1	30.4



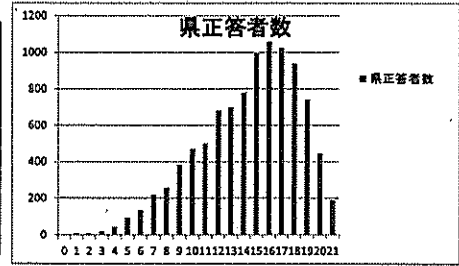
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐちっ子プラスプログラム	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1	(1) 1) 分数の除法の計算ができる	小6	○				○			○			小6 分数		82.0
	(2) 2) 小数の乗法の計算ができる	小5	○				○			○			小5 小数		76.8
	(3) 3) 計算のきまりにしたがって計算することができる	中1	○				○			○			1年 正の数・負の数		65.1
	(4) 4) 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	中1	○				○		○				1年 正の数・負の数		38.5
	(5) 5) 自然数を素数の積として表すことができる	中1	○				○			○			1年 正の数・負の数		59.2
2	(1) 6) 一次式の減法の計算ができる	中1	○				○				○		1年 文字を用いた式		42.5
	(2) 7) 条件にあう公倍数を求めることができる	小5	○				○				○		小5 倍数・約数		39.4
	(3) 8) 平均を求める方法を式で表現することができる	中1	○				○				○		1年 正の数・負の数		30.4
3	(1) 9) 縮図や拡大図について、対応する角の大きさの性質を理解している	小6		○				○			○		小6 図形の拡大と縮小		73.8
	(2) 10) 直方体の体積を求めることができる	小4		○				○			○		小4 直方体と立方体		84.6
	(3) 11) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形の性質や構成の仕方について理解している	小3		○				○			○		小3 三角形と角		44.7
	(4) 12) 直径の長さと同円の長さの関係について理解している	小5		○				○			○		小5 円と多角形		74.2
	(5) 13) 展開図から捉えた立方体の頂点の位置関係を把握することができる	小5		○				○			○		小5 角柱と円柱		77.8
4	(1) 14) 資料から中央値を読み取ることができる	小6				○	○				○		小6 資料の調べ方		47.4
	(2) 15) 表から資料の特徴を読み取ることができる	小6				○	○	○					小6 資料の調べ方		77.1
5	(1) 16) 比例を用いて倍数を求める方法を見いだすことができる	小6		○			○		○				小6 比例；反比例		53.2
	(2) 17) 基準量と比較量を基に割合を求めることができる	小5		○			○			○			小5 割合		41.7
6	(1) 18) 問題場面における数量の関係をとらえることができる	中1	○				○			○			1年 やまぐちっ子プラス文字を用いた式		51.7
	(2) 19) 事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明することができる	中1	○				○			○			1年 やまぐちっ子プラス文字を用いた式		45.8
	(3) 20) 事柄について、文字式を用いて表すことができる	中1	○				○			○			1年 やまぐちっ子プラス文字を用いた式		62.3
7	21) 空間図形の構成要素を的確に捉え、数量の関係をとらえることができる		○				○			○			1年 やまぐちっ子プラス文字を用いた式		100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	66.3	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	4	67.4
		書くこと	1	43.5
		読むこと	5	80.8
評価の観点	知識・技能	11	66.3	
	思考・判断・表現	10	71.7	
問題形式	選択式	16	72.3	
	短答式	4	61.6	
	記述式	1	43.5	



設問別集計結果

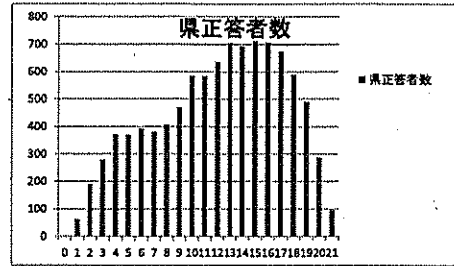
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式	関連するやまぐち学習支援プログラム	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式				
1 (1)	1) 場面と描写などを結びつけて、人物の様子を捉える	中2				○							68.4
1 (2)	2) 工夫された表現を基に、人物の様子を捉える	中2				○							90.7
1 (3)	3) 場面と描写などを結びつけて、人物の様子を捉える	中2				○							82.5
1 (4)	4) 表現や描写の工夫を捉える	中2				○							78.7
1 (5)	5) 物語の全体像を捉える	中2				○							83.5
2 (1)	6) 漢字の国数を理解する (院)	小3	○						○				68.5
2 (2)	7) 同訓異字について理解する (納める、修める、治める)	小4・5・6	○						○		小5_言葉の特徴や使い方_01_同答異義語1		74.1
2 (3) ①	8) 時と場に応じて、適切な敬語を使う	中2	○						○		小5_言葉の特徴や使い方_08~09_敬語1~2		75.0
2 (3) ②	9) 慣用句について理解する	小3・4	○						○		小5_我が国の言語文化_01_慣用句・古文		96.0
2 (4)	10) 接続詞を使って、適切に文を書く	小3・4	○						○		小3_書く_03_つなぎ言葉		46.5
2 (5)	11) 修飾・被修飾の関係について理解する	中1	○						○		小3_ことば_05~08_修飾語1~4		23.9
2 (6)	12) 文節同士の関係について理解する	中2	○						○				37.5
2 (7) ①	13) 歴史的仮名遣いについて理解する	中1	○						○		中1_我が国の言語文化_01_言語文化①		64.6
2 (7) ②	14) 古典作品の内容の大体を捉える	中2	○						○				82.1
2 (7) ③	15) 古典作品の内容の大体を捉える	中2	○						○				61.1
3 (1)	16) 資料を効果的に活用して説明する	中2		○					○		小5_話す・聞く_09_やまぐちっ子プラス話すこと・聞くこと1		82.2
3 (2)	17) 考えと理由など、発言の中の情報と情報との関係を理解する	中1		○					○				84.9
3 (3)	18) 聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫する	中1		○					○		小5_話す・聞く_01_話し方1		32.0
3 (4)	19) 話題や脈間を踏まえて、発言の内容を捉える	中2		○					○				70.7
3 (5)	20) 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして表現する	中1		○					○				43.5
4 動画	21) 行書の特徴を捉える	中2	○						○				100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。



分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
評価の観点	数と式	12	60.4
	図形	4	57.0
	関数	3	58.1
	データの活用	2	40.9
評価の観点	知識・技能	17	59.4
	思考・判断・表現	4	49.7
問題形式	選択式	8	62.9
	短答式	11	59.1
	記述式	2	27.7



設問別集計結果

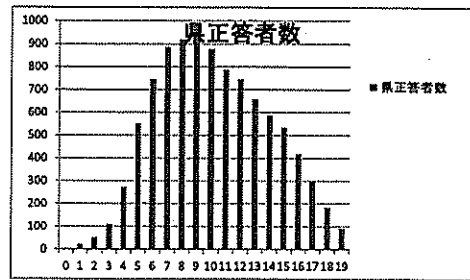
設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1 (1) 1)	分数の減法の計算ができる	小5	○				○						小5 分数		78.0
1 (2) 2)	計算のきまりにしたがって計算ができる	中1	○				○						1年 正の数・負の数		75.3
1 (3) 3)	自然数を素数の積として表すことができる	中1	○				○						1年 正の数・負の数		53.0
1 (4) 4)	割合と四則計算の結果の関係を理解している	中1	○				○						1年 正の数・負の数		65.1
2 (1) 5)	多項式と数の除法の計算ができる	中1	○				○						1年 文字を用いた式		40.3
2 (2) 6)	多項式どうしの減法が計算できる	中2	○				○						2年 式の計算		70.4
2 (3) 7)	文字を用いた式が表している数量を読み取ることができる	中1	○				○						1年 文字を用いた式		31.1
2 (4) 8)	文字を用いて数量を表すことができる	中2	○				○						2年 式の計算		66.2
2 (5) 9)	証明を振り返り、新たに分かる性質を読み取ることができる	中2	○					○	○				2年 やまぐちっ子プラス 式の計算		43.2
3 (1) 10)	小数を含む一次方程式を解くことができる	中1	○				○						1年 方程式		56.8
3 (2) 11)	二元一次方程式の解の個数の意味を理解している	中2	○				○						2年 連立方程式		76.3
3 (3) 12)	等式の性質を理解している	中1	○				○						1年 方程式		68.9
4 (1) 13)	反比例の表の特徴を理解している	中1		○			○						1年 比例・反比例		55.9
4 (2) 14)	比例のグラフの特徴を理解している	中1		○			○						1年 比例・反比例		44.6
4 (3) 15)	日常生活を比例とみなして、関係性を見つげることができる	中1		○			○						1年 比例・反比例		73.8
5 (1) 16)	平行移動の特徴を理解している	中1		○			○						1年 平面図形		78.6
5 (2) 17)	投影図から図形の表面積を求めることができる	中1		○			○						1年 空間図形		17.4
5 (3) 18)	空間図形の線分の長さについて理解している	中1		○				○					1年 やまぐちっ子プラス 空間図形		32.0
6 (1) 19)	累積度数を求めることができる	中1			○	○							1年 資料の散らばりと代表値		58.3
6 (2) 20)	ヒストグラムを使って、理由を説明することができる	中1			○		○						1年 資料の散らばりと代表値		23.5
7 動画 21)	円錐の体積の求め方を用いて、2つの円錐の体積について考察することができる	中1		○			○	○					1年 空間図形		100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

中学校第2学年 英語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	聞く	7	55.6
	読む	8	59.5
	書く	4	38.8
評価の観点	知識・技能	11	55.7
	思考・判断・表現	8	51.0
問題形式	選択式	14	60.7
	短答式	1	100.0
	記述式	4	17.5



設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率(%)
			聞く	読む	書く	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1) 1	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	中1	○			○		○			中1英語_07_命令文		63.1
1 (2) 2	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	中1	○			○		○			中1英語_02_一般動詞		52.2
1 (3) 3	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	中1	○			○		○			中1英語_03_名詞の複数形		60.2
2 (1) 4	日常的な話題について、適切に応じることができる	中1	○			○		○			中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文		53.1
2 (2) 5	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる	中1	○			○		○			中1英語_02_一般動詞		55.9
3 (1) 6	まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることができる	中2	○			○		○			中2英語_05_to不定詞/動名詞		89.5
3 (2) 7	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる<適切さ>	中2	○			○		○			中1英語_☆やまぐちっ子プラス書くこと(自己紹介)		15.2
4 (1) 8	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる	中2	○			○		○			中2英語_03_未来の文		60.7
4 (2) 9	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる	中2	○			○		○			中2英語_04_節をつくる接続詞		79.2
4 (3) 10	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる	中2	○			○		○			中2英語_05_to不定詞/動名詞		49.7
5 (1) 11	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	中1		○		○			○		中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文		20.8
5 (2) 12	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	中1		○		○			○		中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文		14.5
6 (1) 13	表や資料に示された内容を読んで、必要な情報を読み取ることができる	中2	○			○		○			中2英語_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと(英語のチラシ)		73.2
7 (1) 14	まとまりのある英語を読んで、その要点をとらえることができる	中2	○			○		○			中2英語_☆やまぐちっ子プラス読むこと・書くこと(日本のお正月)		63.1
8 (1) 15	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の概要を読み取ることができる	中2	○			○		○			中2英語_☆やまぐちっ子プラス読むこと(日常的な話題についての会話文)		52.1
8 (2) ① 16	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる	中2	○			○		○			中2英語_☆やまぐちっ子プラス読むこと(日常的な話題についての会話文)		58.8
8 (2) ② 17	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ることができる	中2	○			○		○			中2英語_☆やまぐちっ子プラス読むこと(日常的な話題についての会話文)		39.4
9 (1) 18	日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じることができる<適切さ>	中2		○		○			○		中2英語_☆やまぐちっ子プラス書くこと(ALTの先生とのやりとり)		19.7
10 動画 19	動画に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	中1		○		○			○		中1英語_08_現在進行形		100.0

※動画問題は今年度は試行のため、正答率が100%と表示される。

### Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果

質問 番号	質問項目	令和3年度の 調査との比較		同一の児童生徒 集団で比較	
		小 5 ・ 6	中 1 ・ 2	現小 6	現中 1・2
1	授業の中で、授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う。	○	○	○	○
2	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。	○	○	○	
3	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	○	○	○	○
4	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。	○	○	○	○
5	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。	○	○	○	○
6	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	○	○	○	○
7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。	○	○	○	○
8	国語の勉強が好きだ。			○	○
9	算数の勉強が好きだ。（小）数学の勉強が好きだ。（中）			○	○
10	社会の勉強が好きだ。				
11	理科の勉強が好きだ。				
12	英語の勉強が好きだ。				
13	あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。			○	
14	あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか。			○	
15	やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。	○	○	○	○
16	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）	○	○	○	○
17	新家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含みます。）			○	
18	読書は好きですか。			○	○
19	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	○	○	○	○
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	○	○	○	○
21	新地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。				
22	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	○	○	○	○

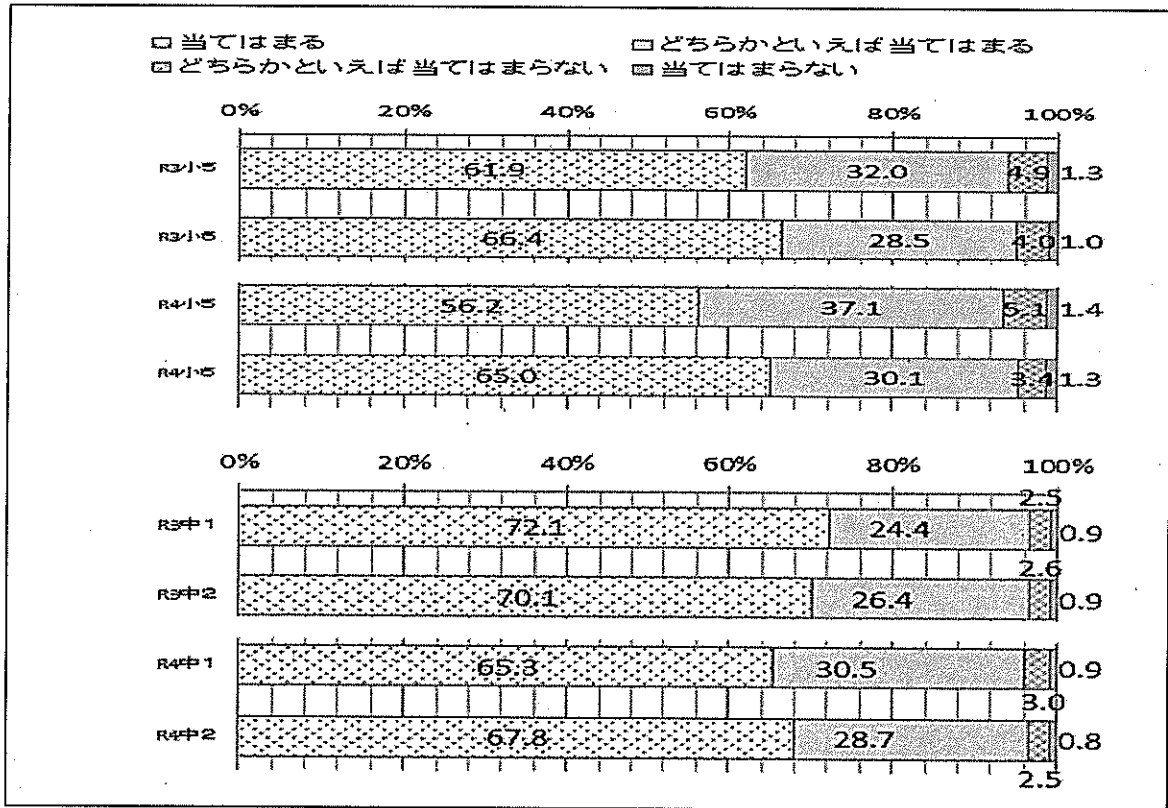
Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果 (○：成果 △：一部成果 ●：課題)

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善】

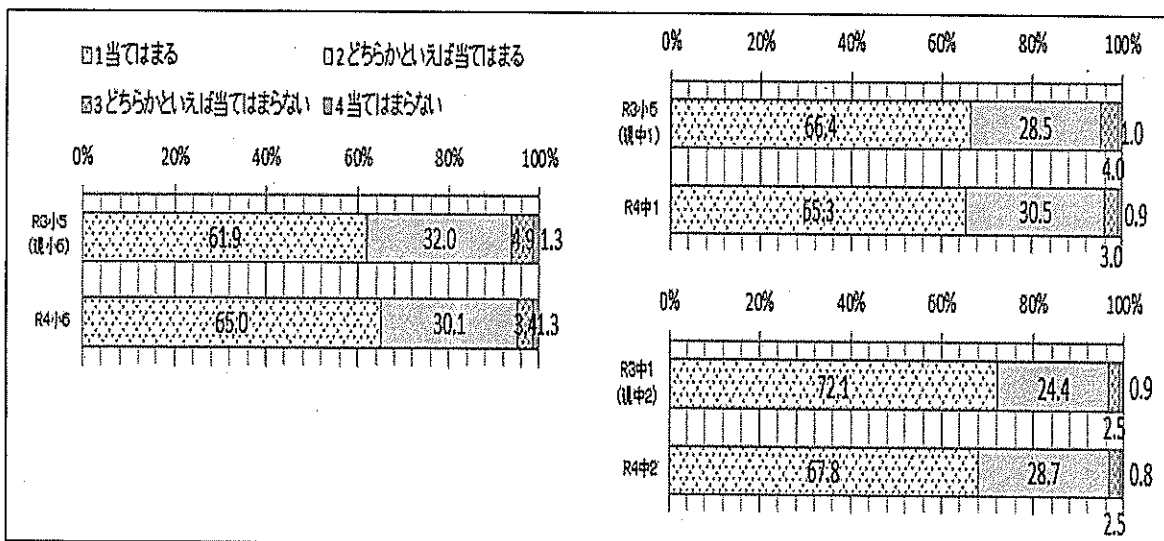
【質問1】授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されていると思う。

- 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- △ 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年生では増加しているが、中学1・2年生では減少している。

【令和3年度調査との比較】



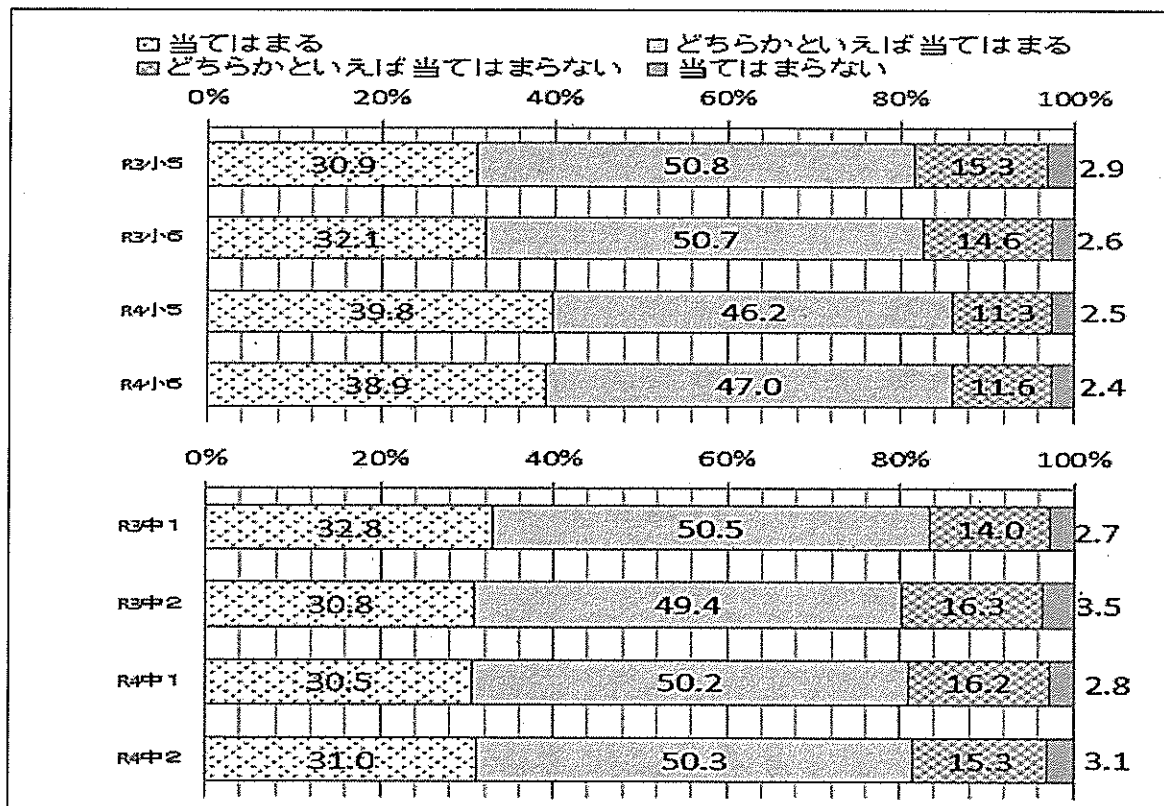
【同一の児童生徒集団で比較】



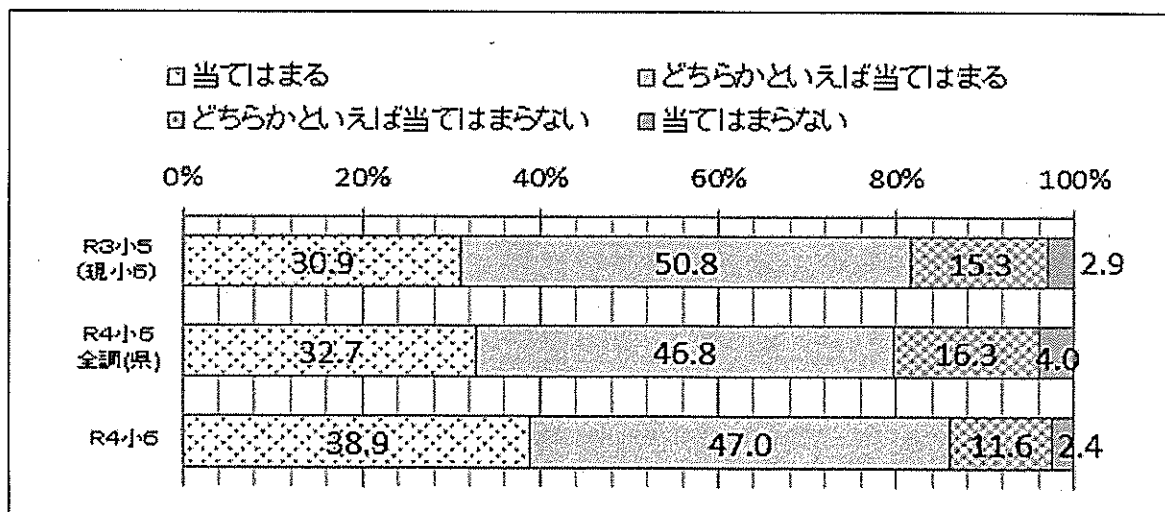
【質問2】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。

- △ 「当てはまる」と回答した割合は、昨年度と比べると、小学校では増加しているが、中学校では大きな変化はない。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童集団で比較】

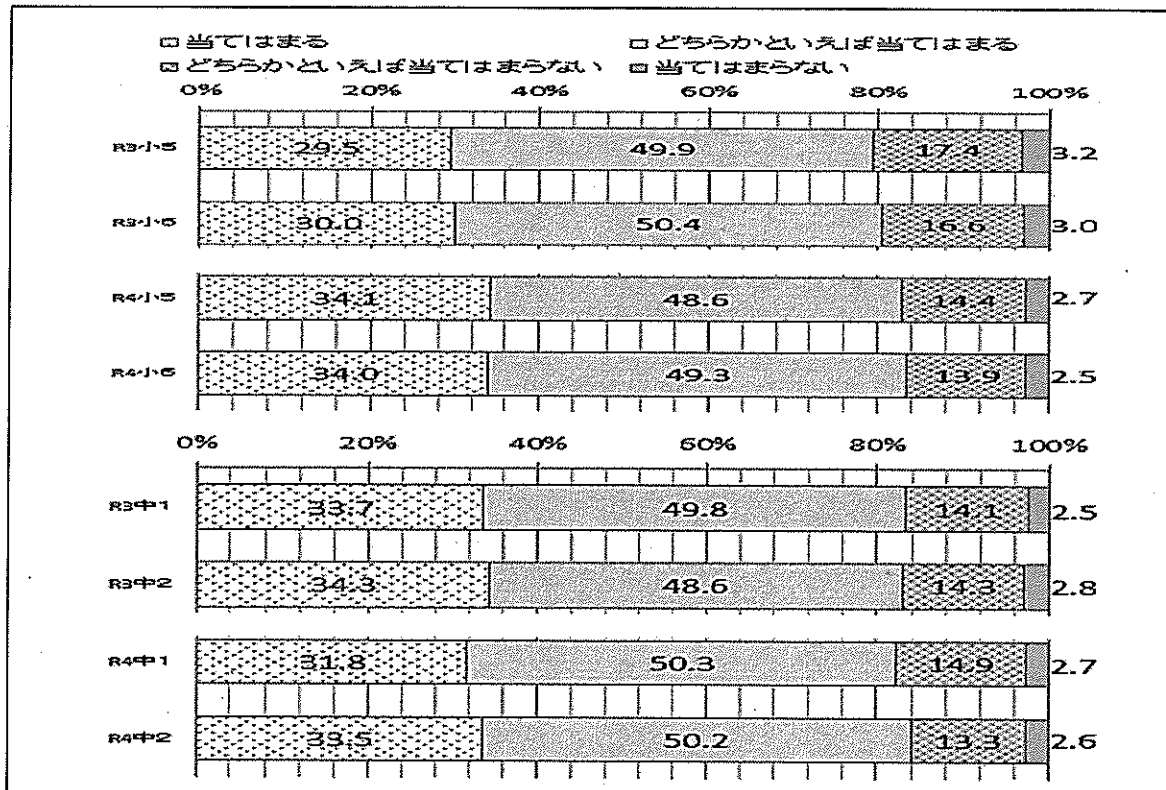


【質問3】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

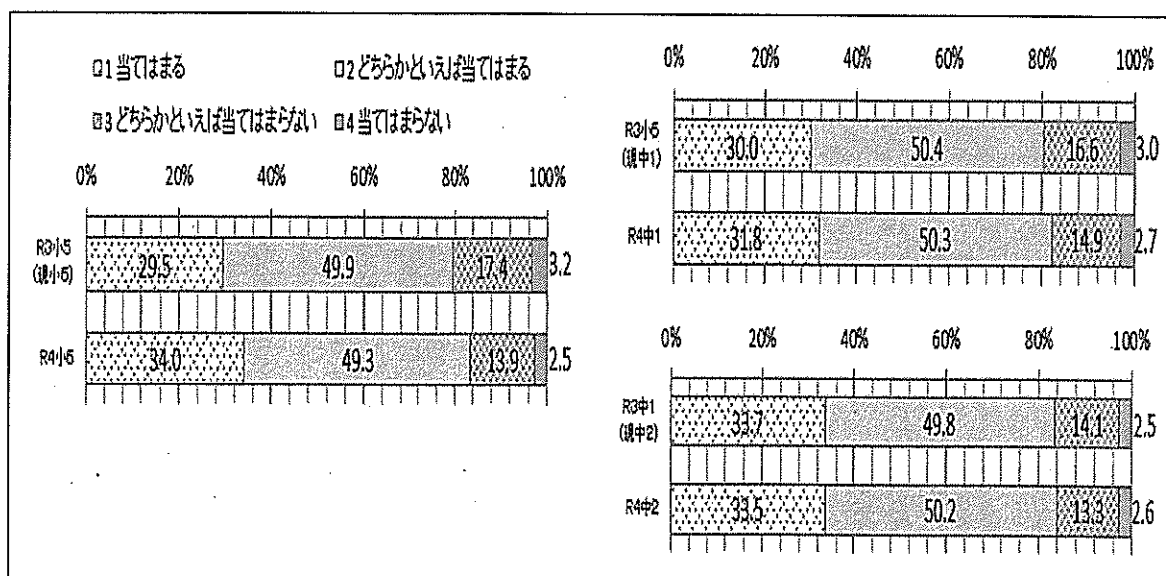
△ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校は増加しているが、中学校は減少している。

△ 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年と中学1年では増加しているが、中学2年ではあまり変化がない。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

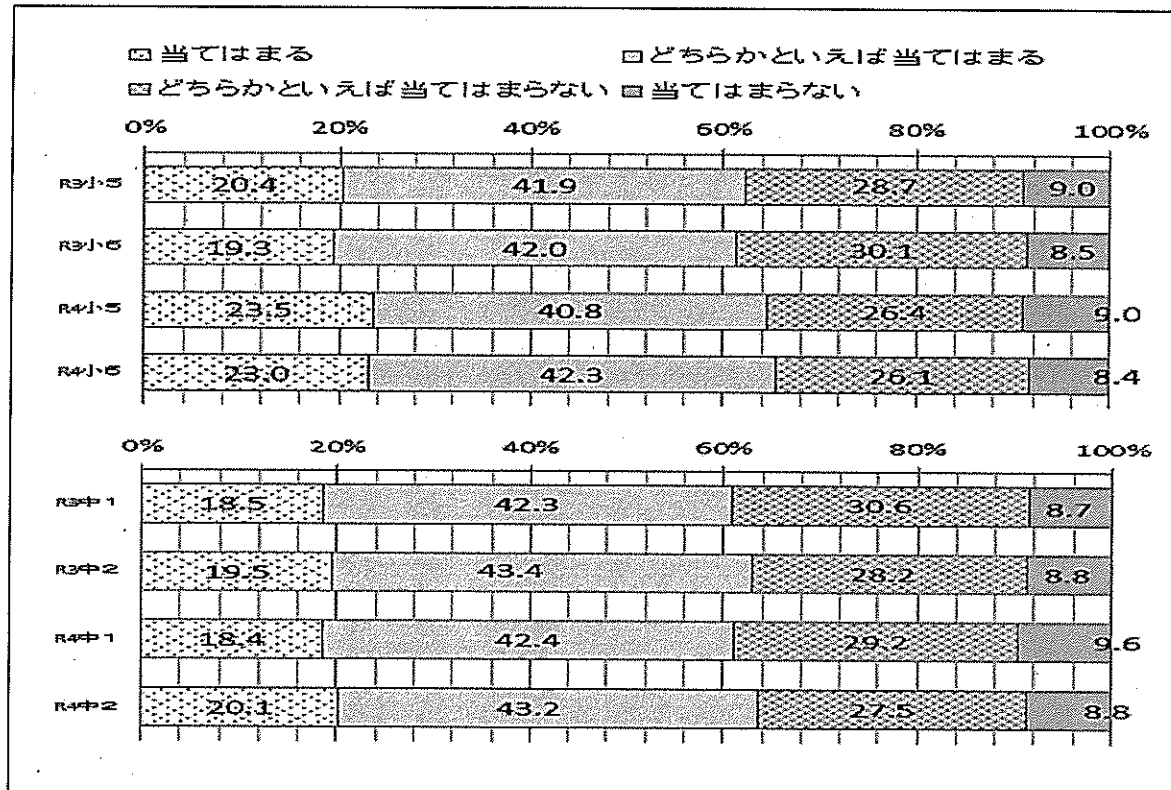


【質問4】授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

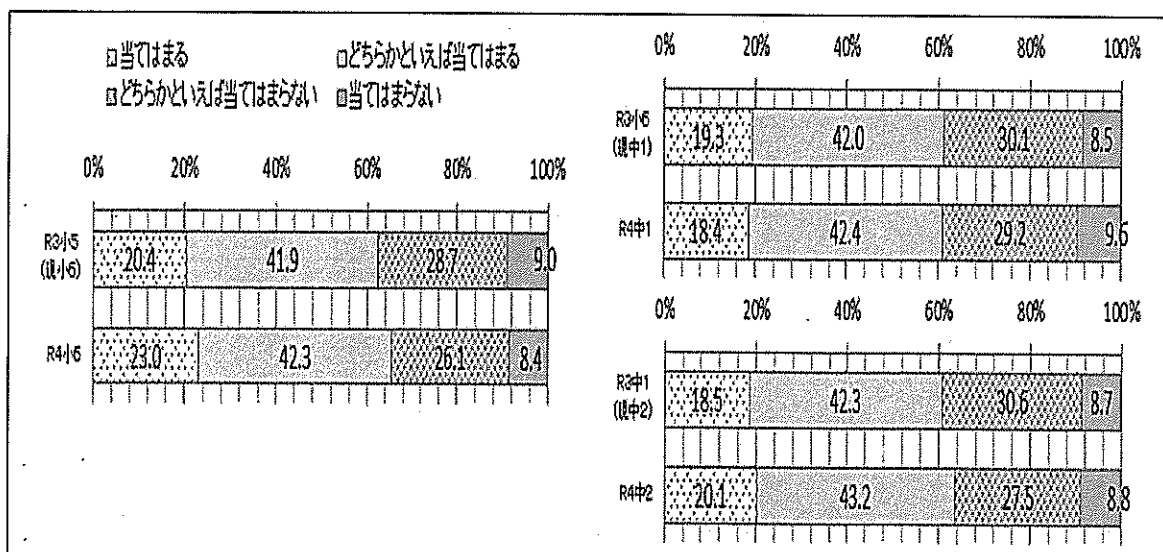
△ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校は増加しているが、中学校はほぼ変化がない。

● 肯定的な回答の割合を、同一児童集団で比較すると、小学6年から中学1年の間で減少している。

【令和3年度調査との比較】



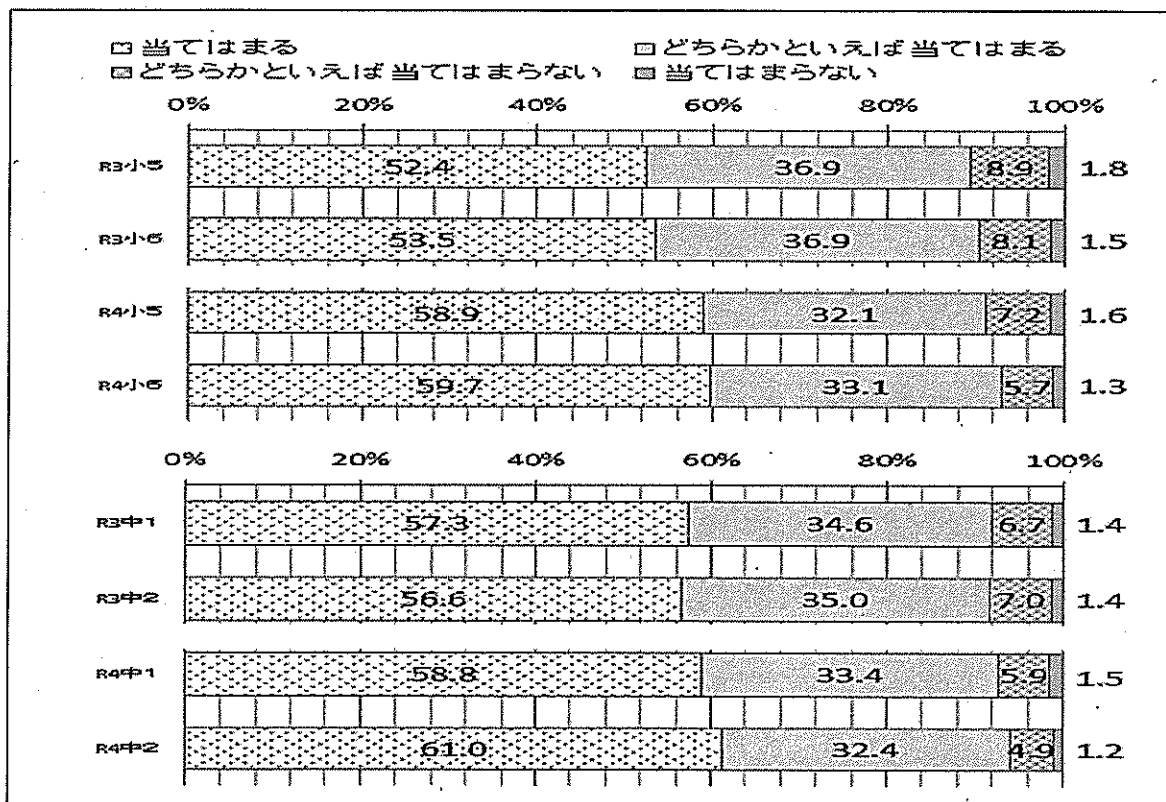
【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)



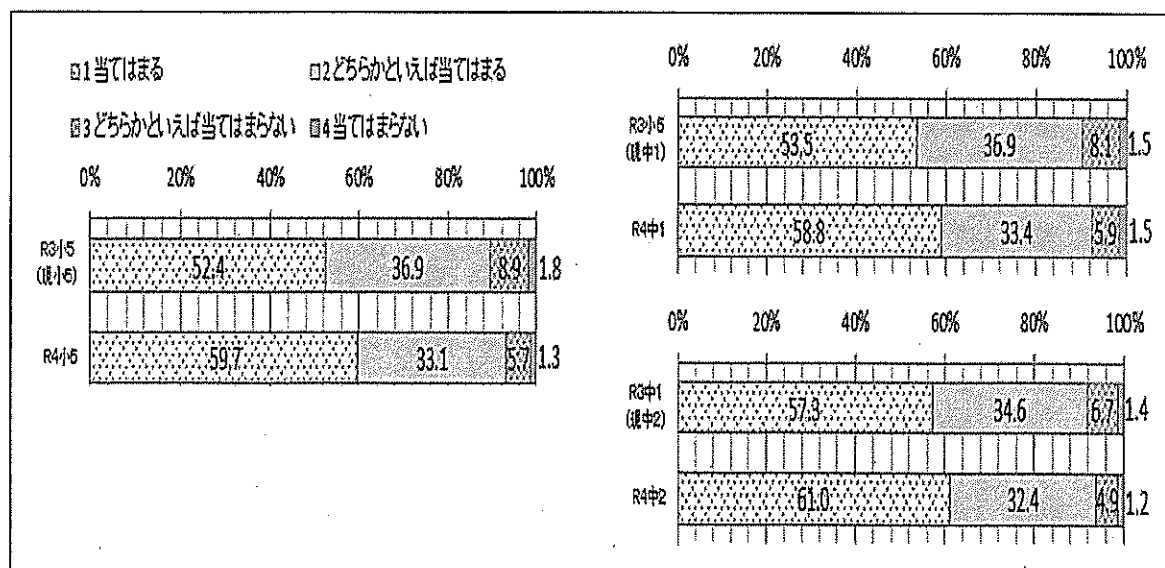
【質問5】授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

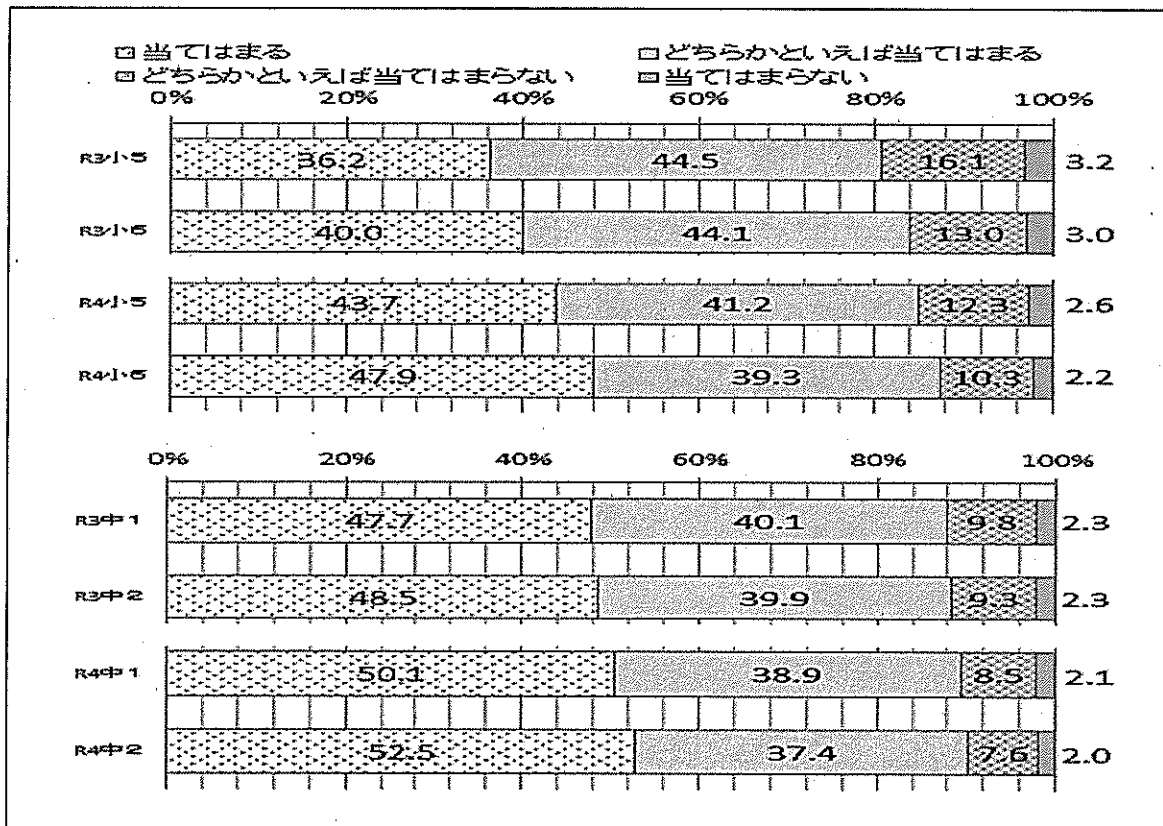




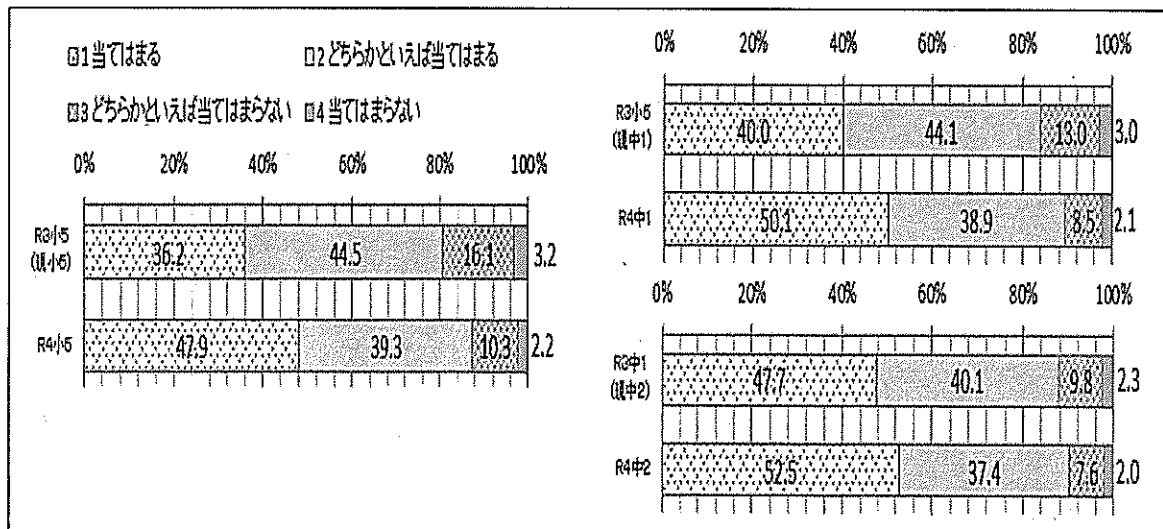
【質問6】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和3年度調査との比較】



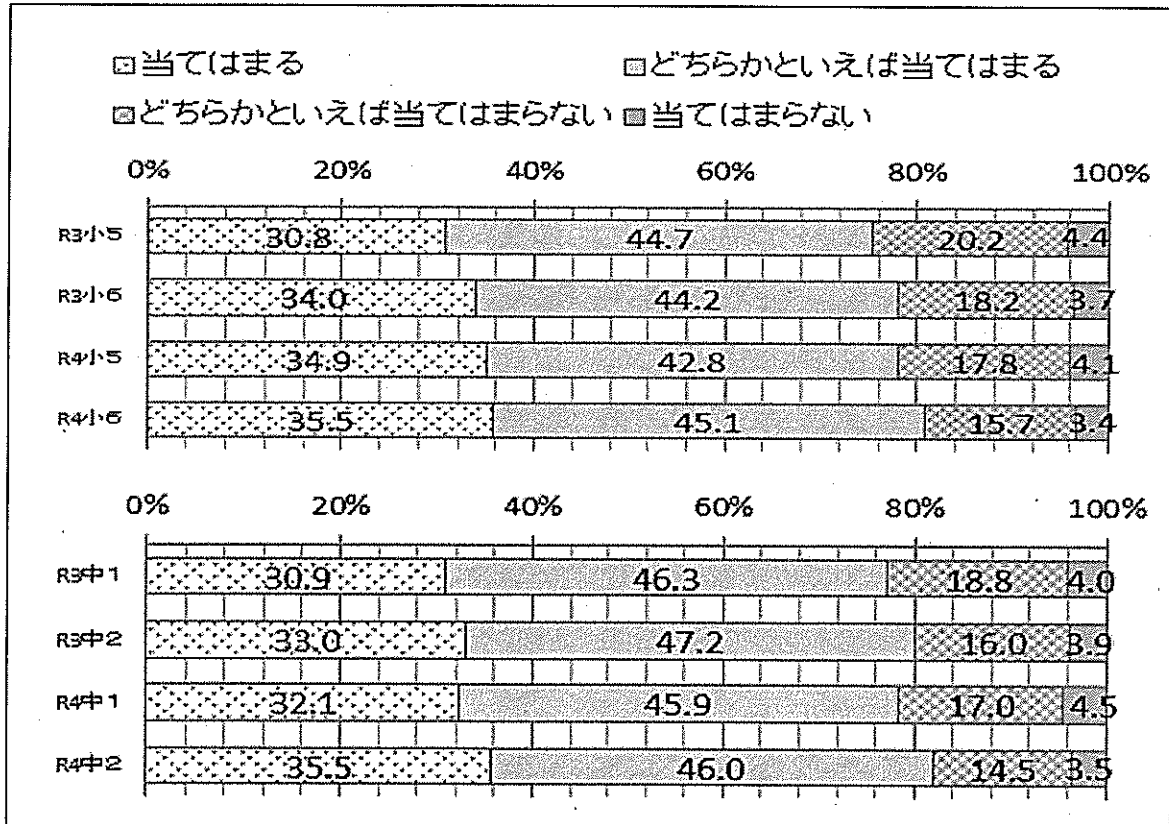
【同一の児童生徒集団で比較】



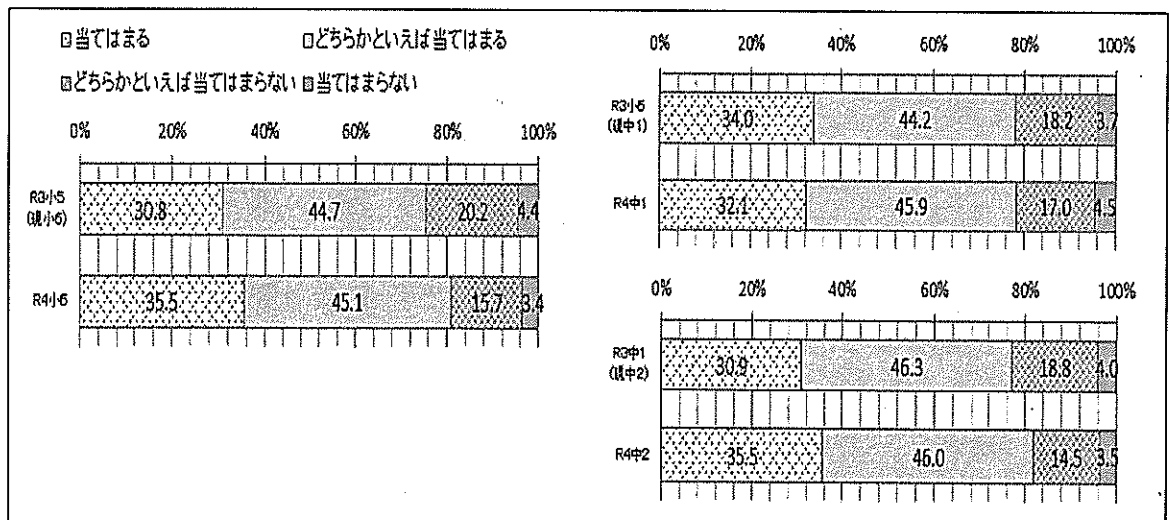
【質問7】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団と比較すると、中学1年では減少しているが、小学6年と中学2年では増加している。

【令和3年度調査との比較】



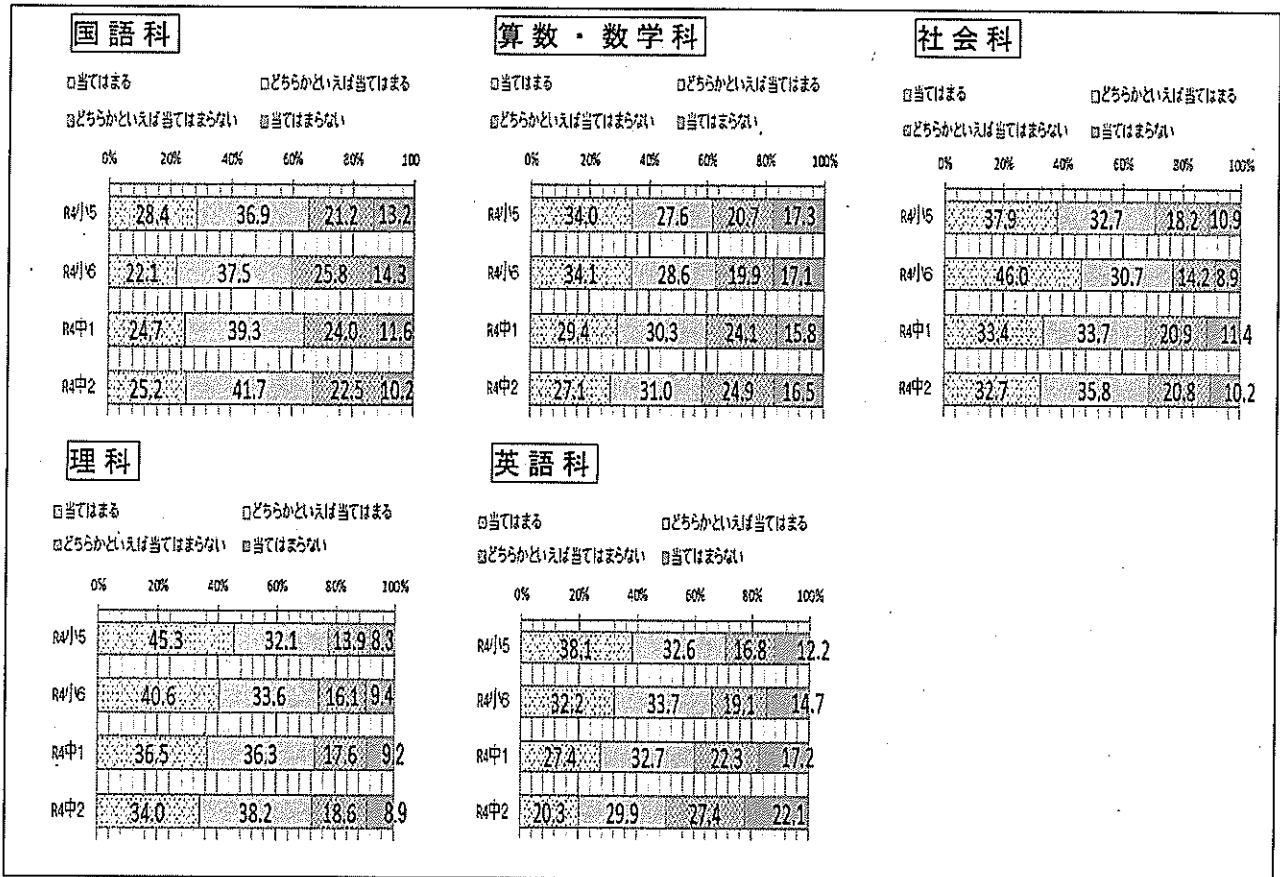
【同一の児童生徒集団で比較】



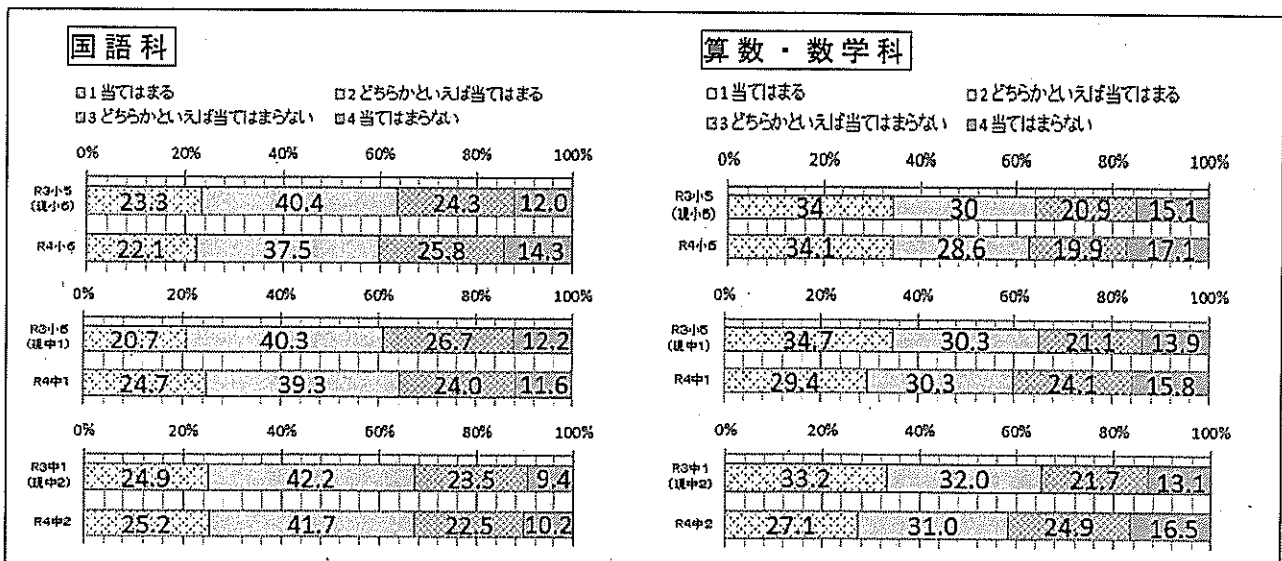
【質問8～12】各教科の勉強が好きだ。

- 理科、英語科において、学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。
- △ 国語科においては、同一の学年集団で比較すると、中学校において「当てはまる」と回答した生徒の割合が前年度から増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の学年集団で比較】

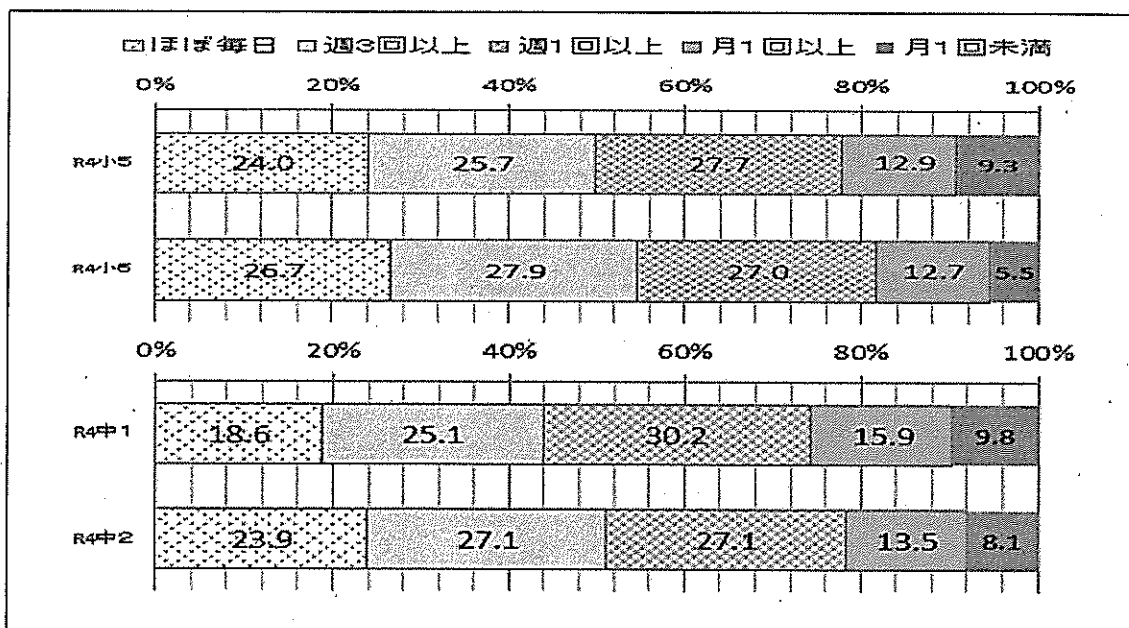


【ICT活用】

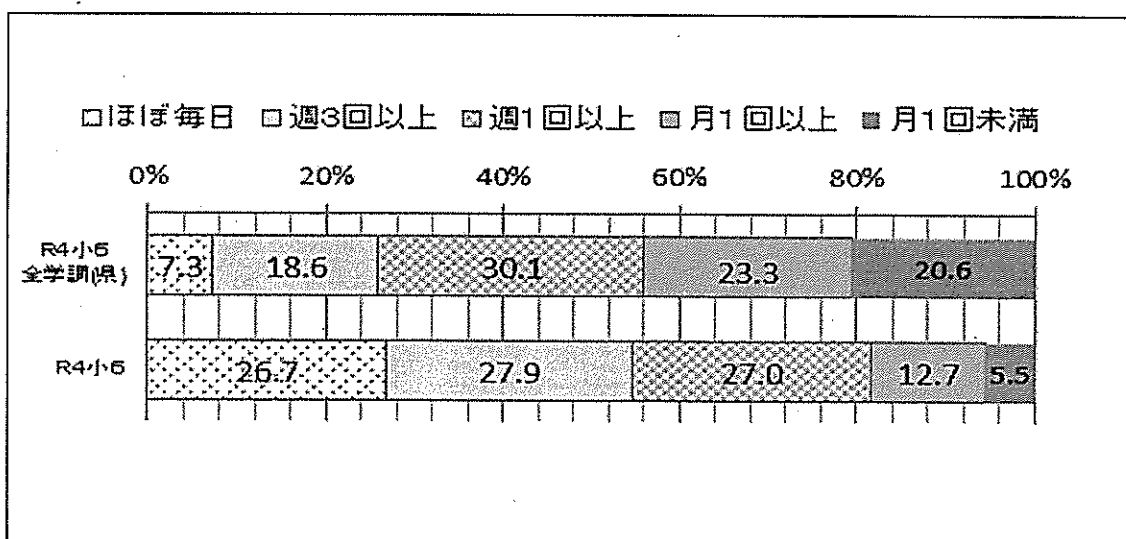
【質問13】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で50%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、大幅に増加している。

【今年度調査の結果】



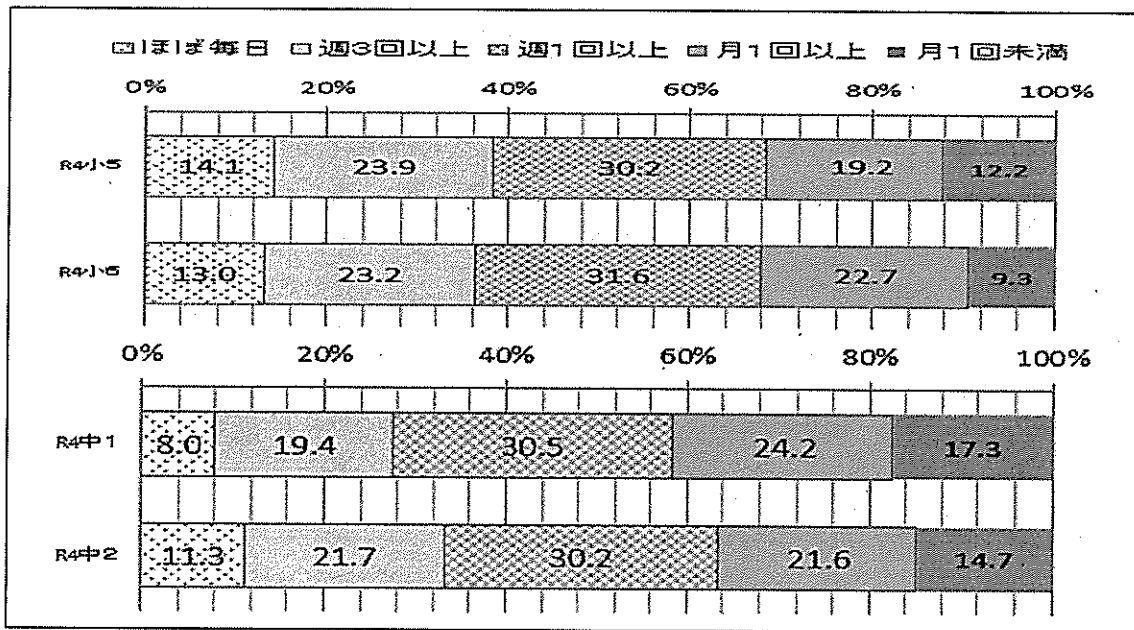
【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)



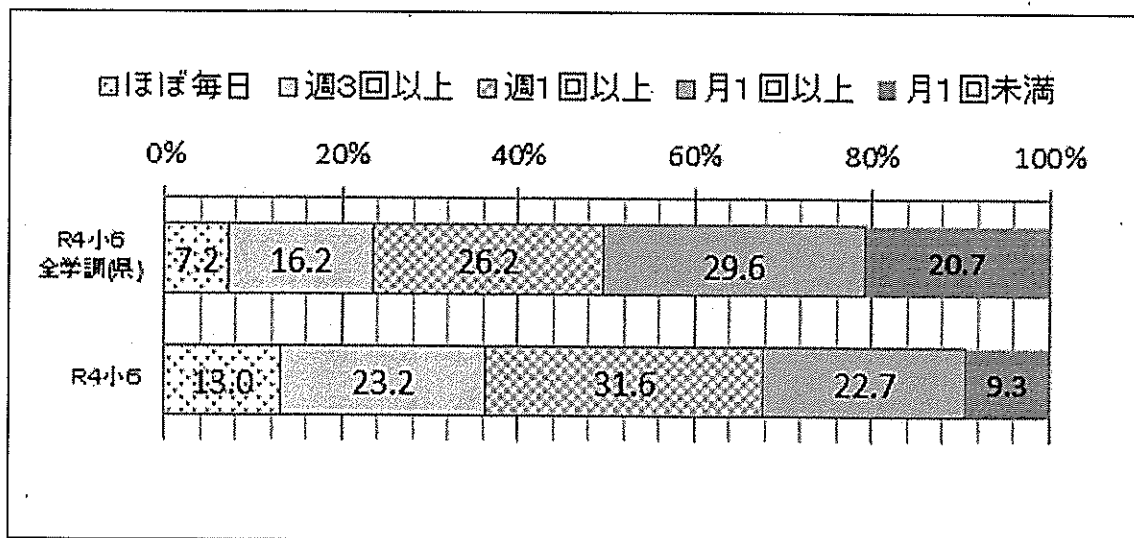
【質問14】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で50%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

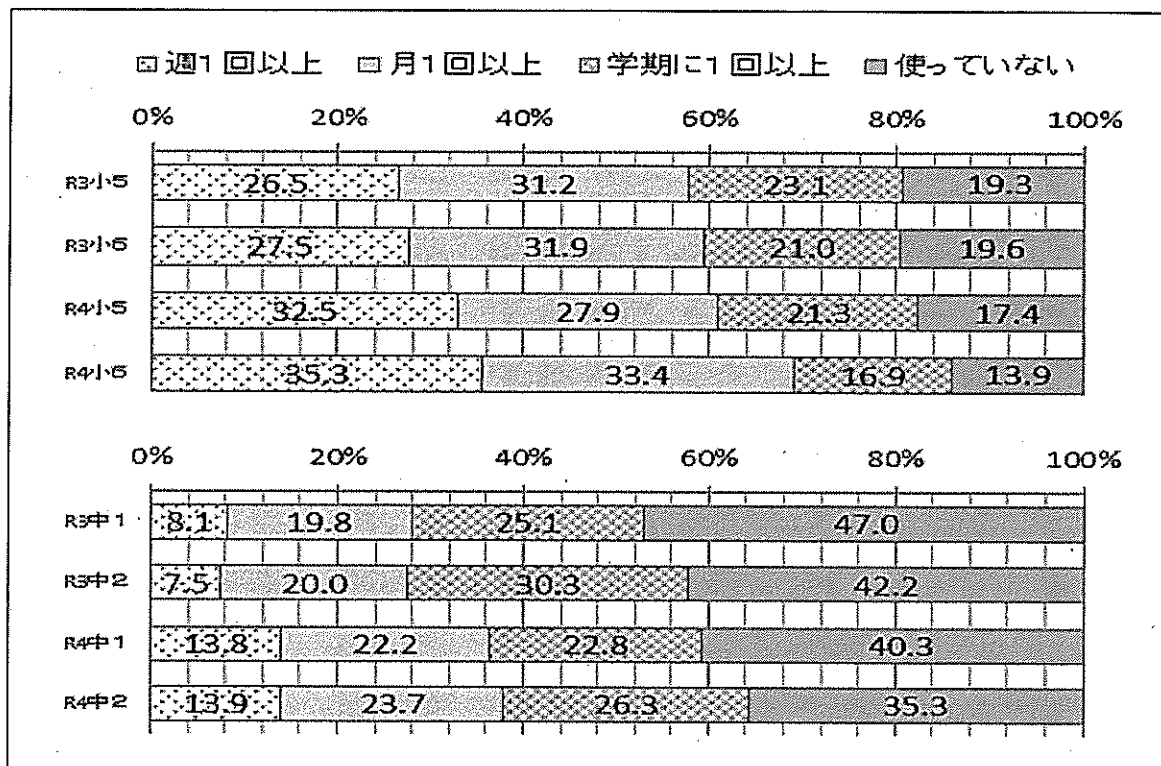


【学習支援プログラムの活用】

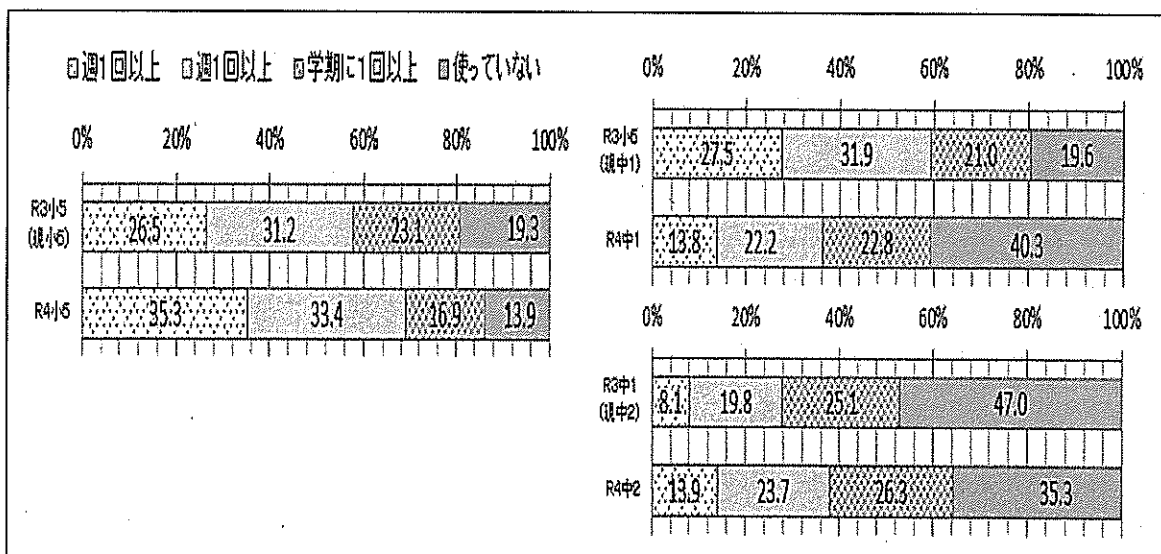
【質問15】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- △ 同一の児童生徒集団で比較したとき、小学校から中学校への変わり目で肯定的な回答の割合が大きく減少している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童生徒集団で比較】

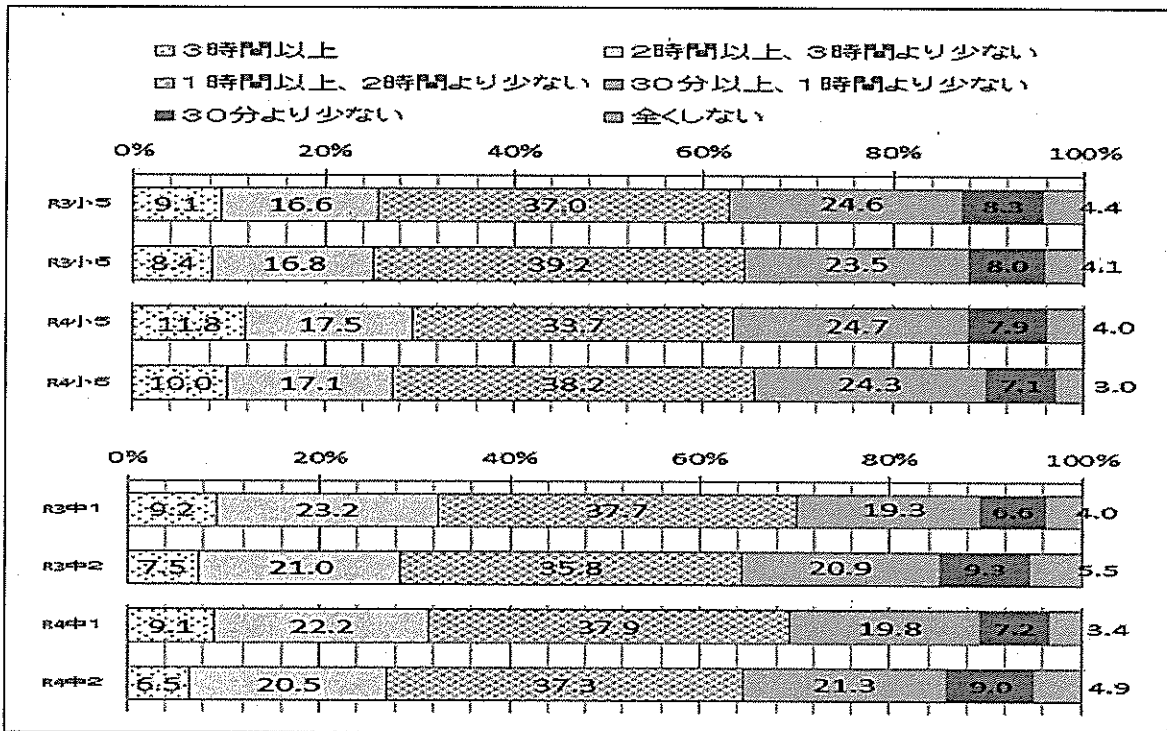


【家庭学習等の習慣】

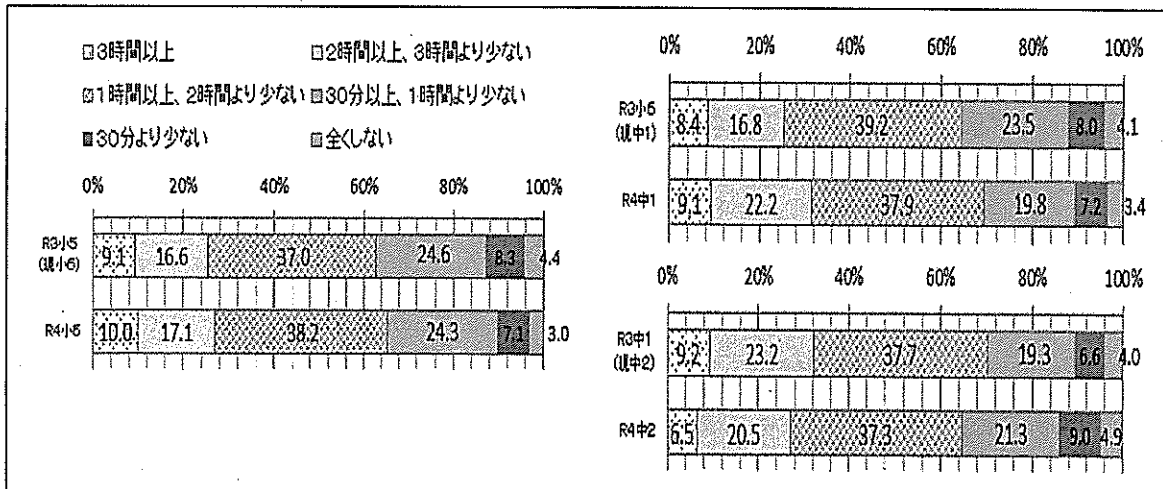
【質問16】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）

- △ 「2時間以上」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学校では増加し、中学校では減少している。「全くしない」と回答した児童生徒の割合が減少している。
- △ 「2時間以上」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年と中学1年では増加しているが、中学2年では減少している。

【令和3年度調査との比較】



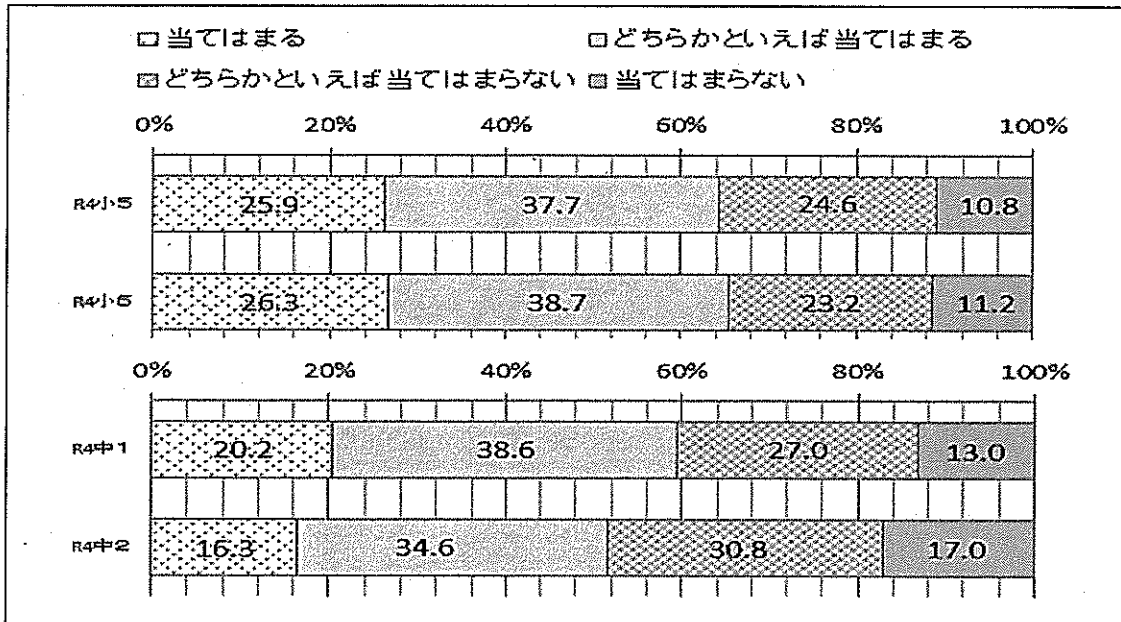
【同一の児童生徒集団で比較】



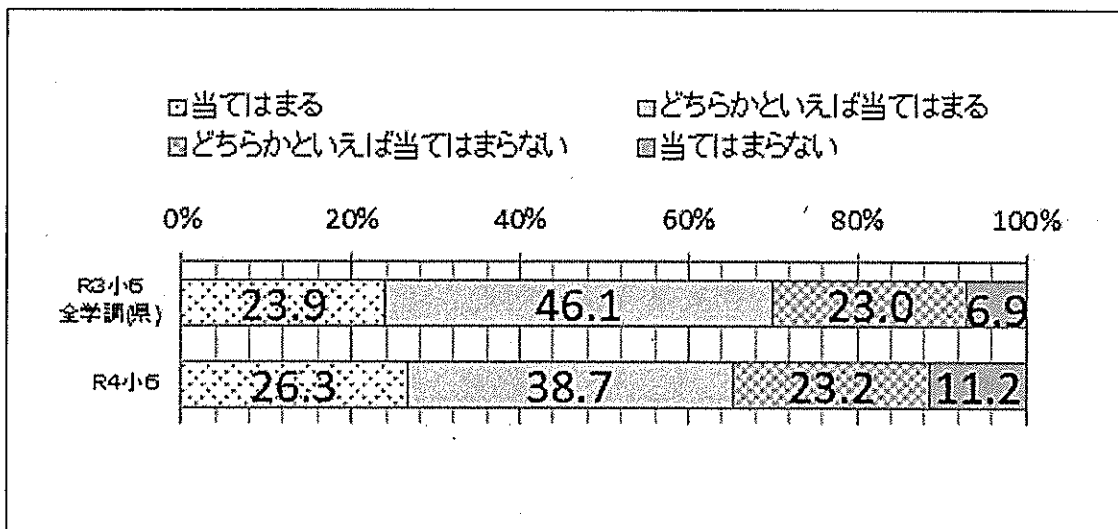
【質問17】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含みます。)

- 肯定的な回答をした割合は、全ての学年で50%を上回っている。
- △ 同一の児童集団で比較すると、「当てはまる」と回答した割合は増加しているが、「当てはまらない」と回答した割合も増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

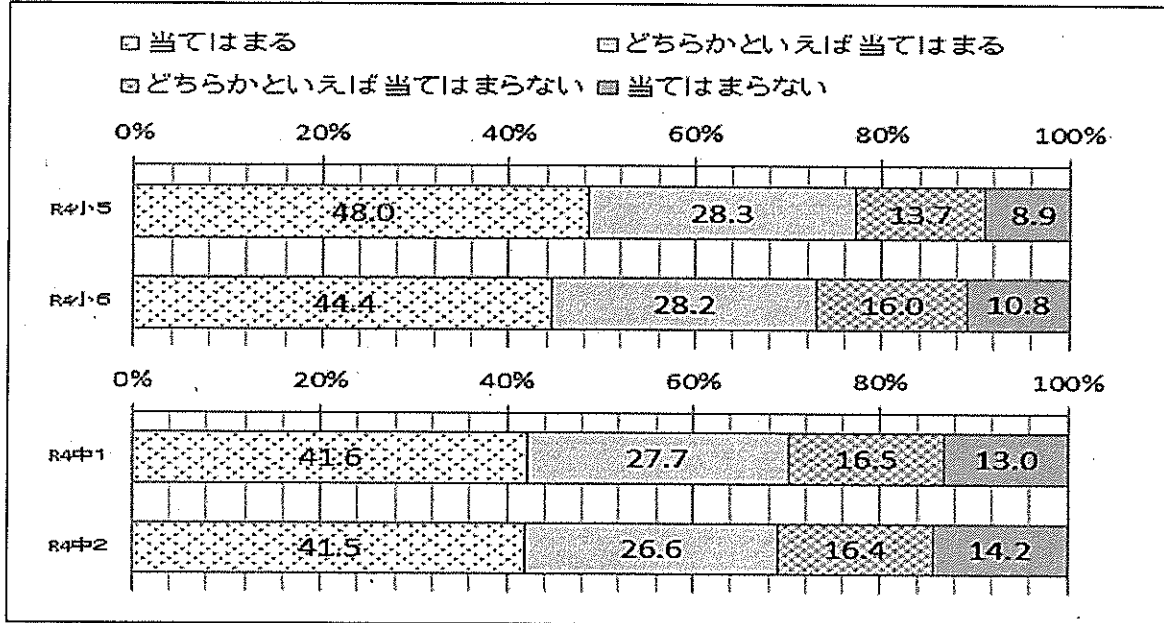




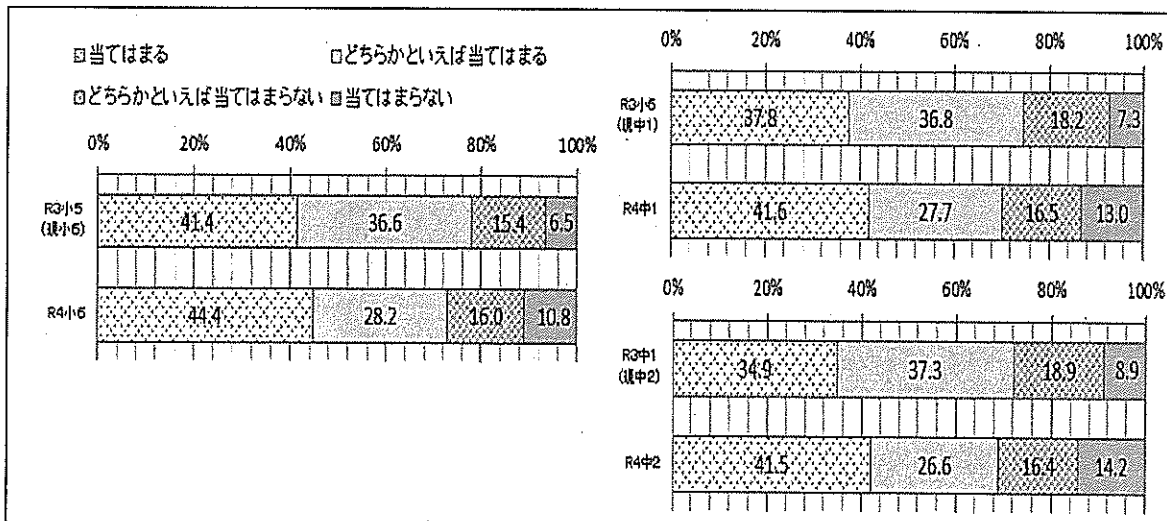
【質問18】読書は好きですか。

- 学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。
- 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童生徒集団で比較】

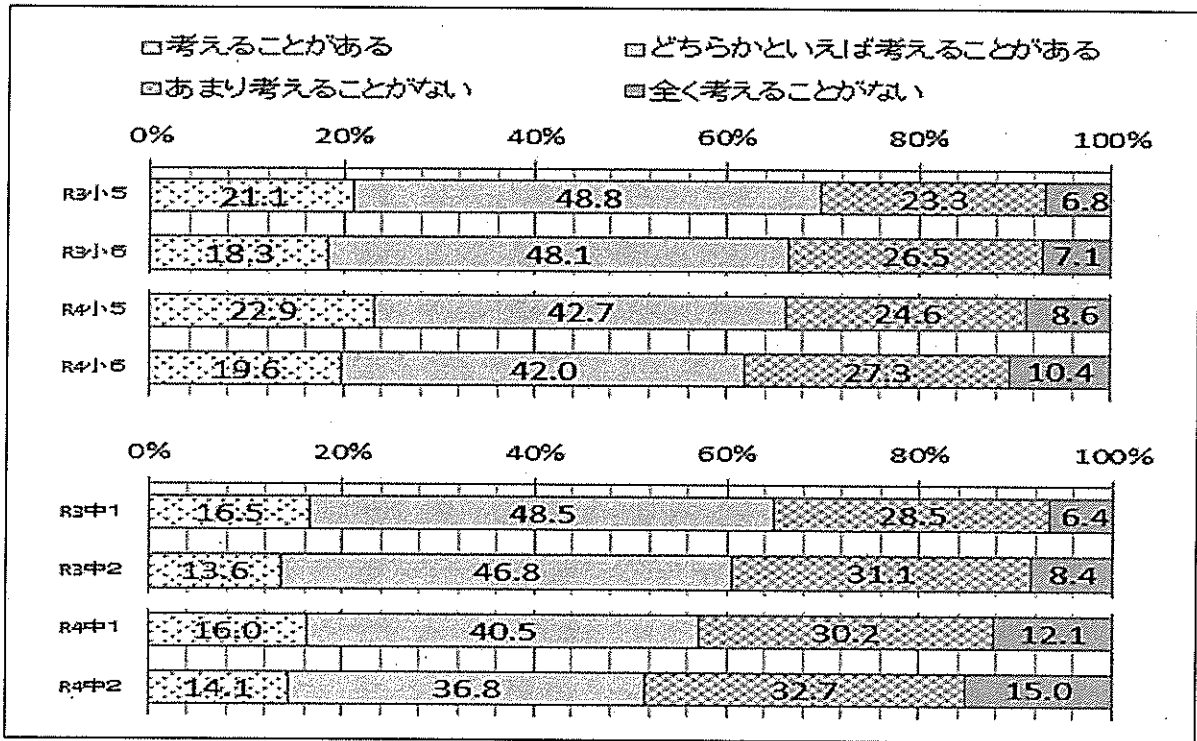


【社会に開かれた教育課程の実現】

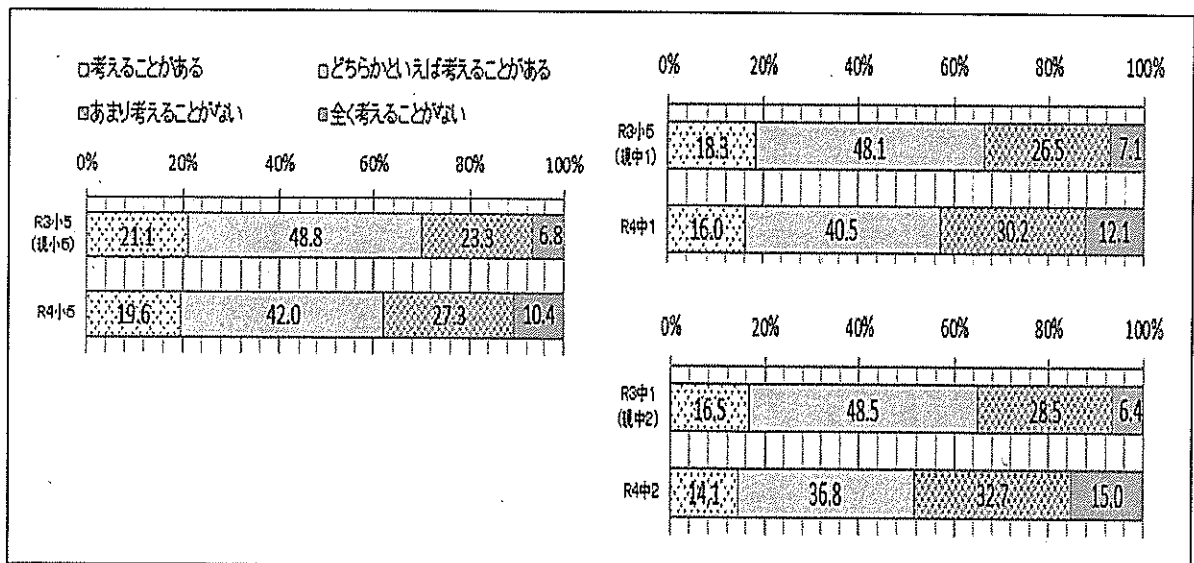
【質問19】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較しても、全ての学年で減少している。

【令和3年度調査との比較】



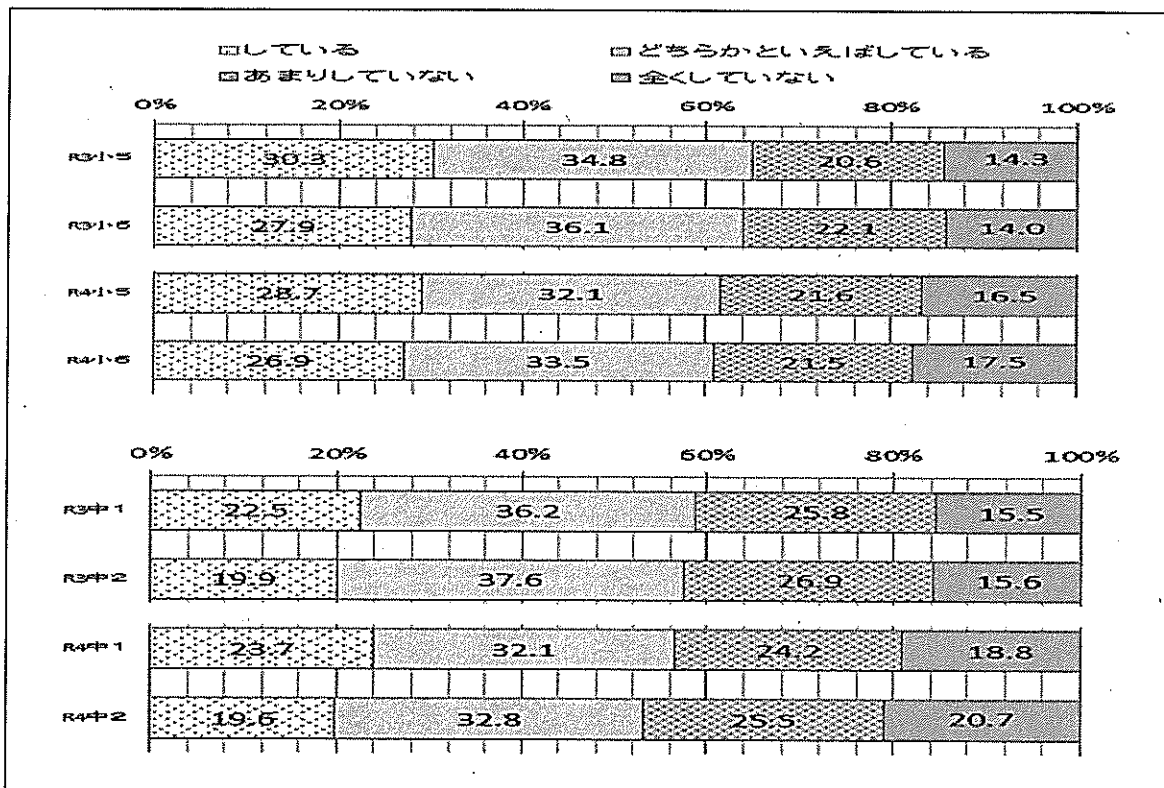
【同一の児童生徒集団で比較】



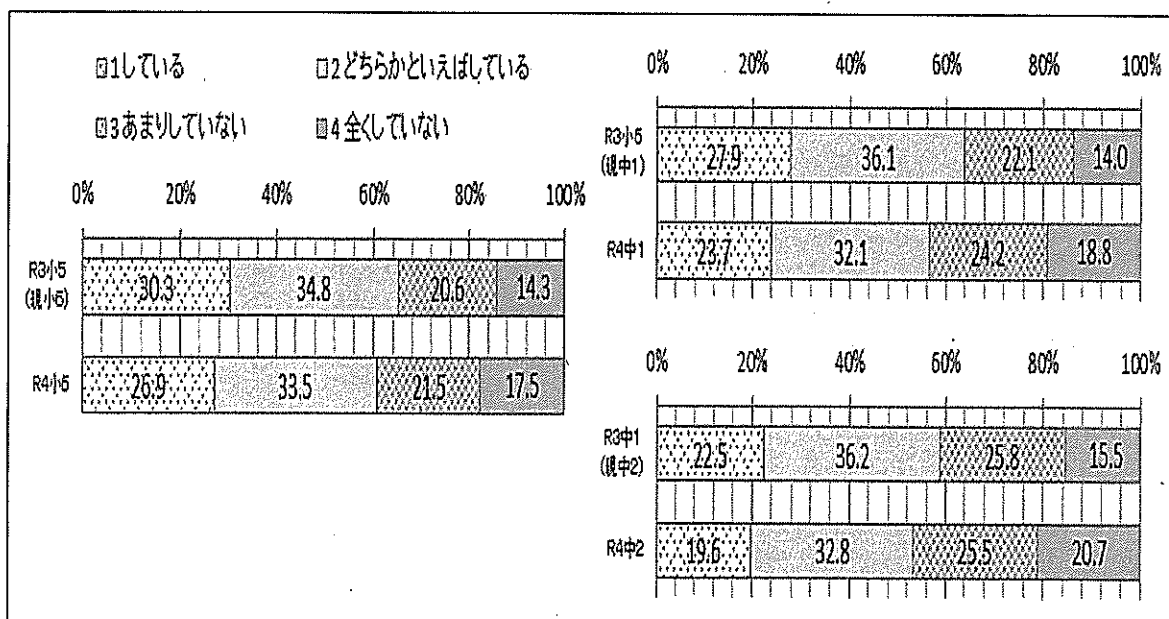
【質問20】今住んでいる地域の行事に参加していますか。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較しても、全ての学年で減少している。

【令和3年度調査との比較】



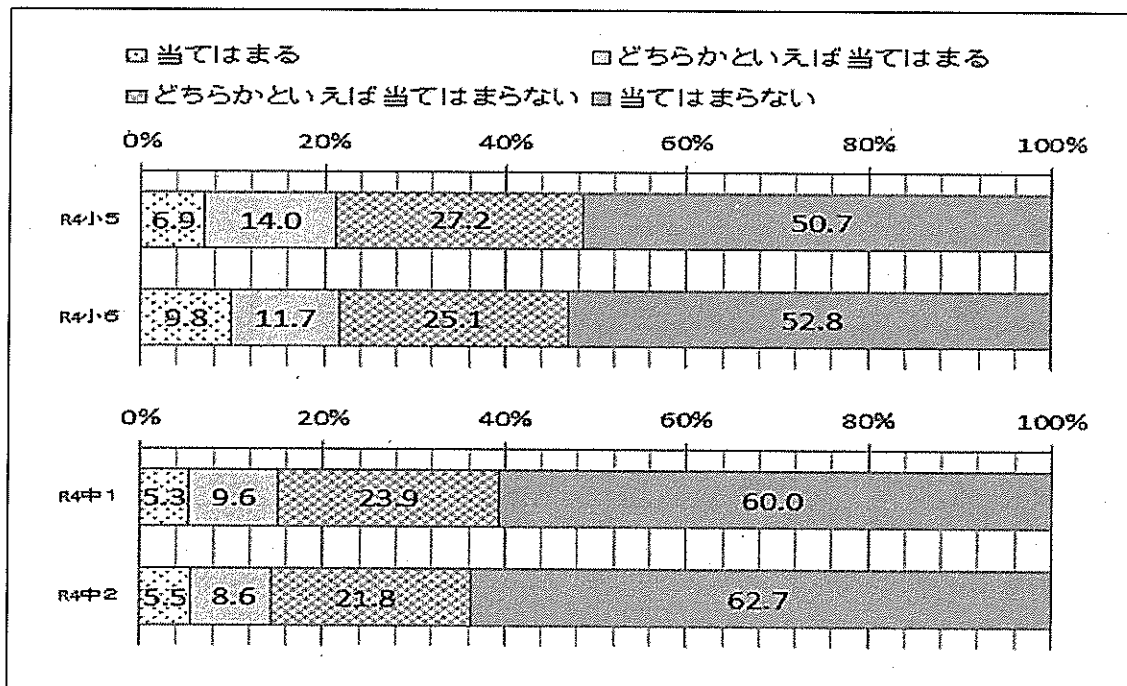
【同一の児童生徒集団で比較】



【質問21】 地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

- 肯定的な回答をした割合は、小学校では 20%程度、中学校では 20%を下回っている。
- 「当てはまらない」と回答した割合が全ての学年で 50%を上回っており、多くの児童生徒が熟議に参加していないと予想できる。

【今年度調査の結果】

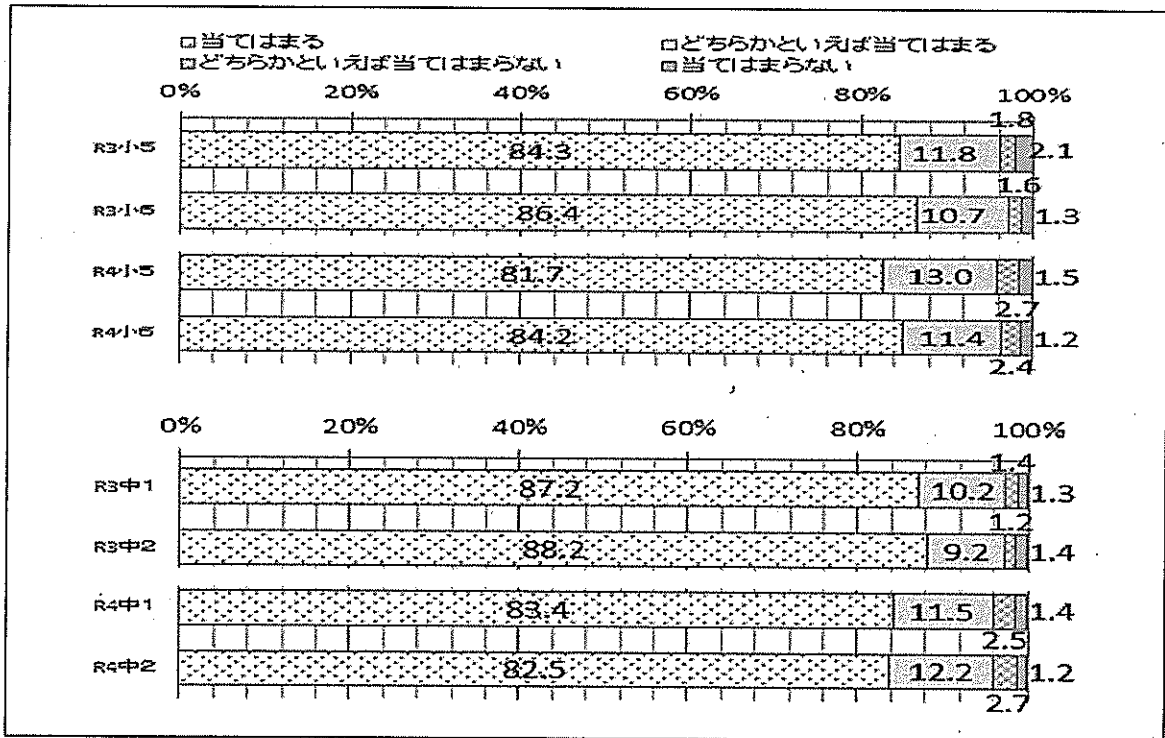


【子どもの意識】

【質問22】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で90%を上回っている。
- 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で減少している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

